

(案)

夢を力に！

～サブタイトル挿入予定～



夢を力に！

“夢を力に！”

様々な人が「夢」を持ってまちづくりに参加し、それがまちの力になる。

そして、まちの魅力が高まり、訪れる人の「夢のような時間」に繋がっていく…

この計画書は、そんなまちづくりへの思いを込めてまとめました。



夢を力に！

～サブタイトル挿入予定～

➤ まえがき | P.03

➤ 町田市中心市街地整備計画とは | P.04

➤ 目次 | P.05

➤ 本編 | P.07

まえがき

今、まちづくりの再スタートを

整備計画に期待する役割



町田市中心市街地整備計画策定検討委員会
委員長

真野 洋介

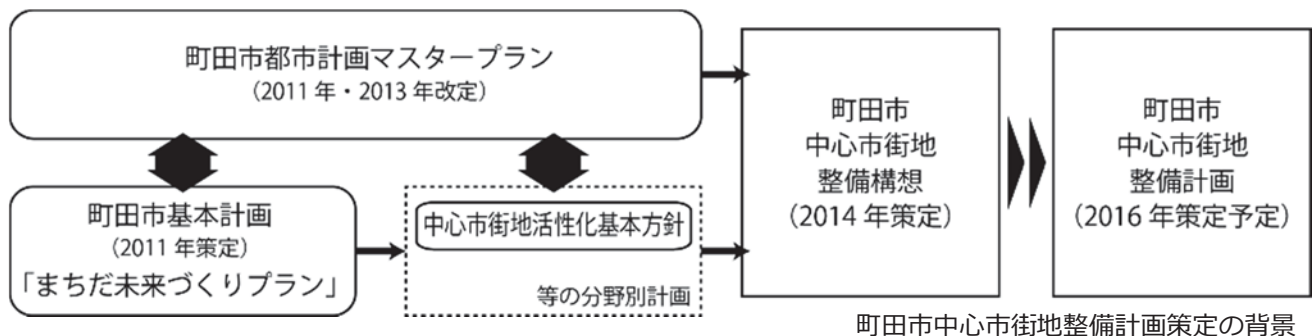
町田市中心市街地整備計画とは

計画策定の背景と目的

町田市では、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市都市計画マスタープラン」に基づき、「町田市中心市街地活性化基本方針」等の分野別計画と連携しながら、中心市街地の更なる整備に向けて、市民・事業者・市の協働のまちづくりの指針として「町田市中心市街地整備構想」を2014年3月に策定しました。

この「町田市中心市街地整備構想」を受け、中心市街地でのまちづくりを具体的に進めるために「町田市中心市街地整備計画」を策定します。

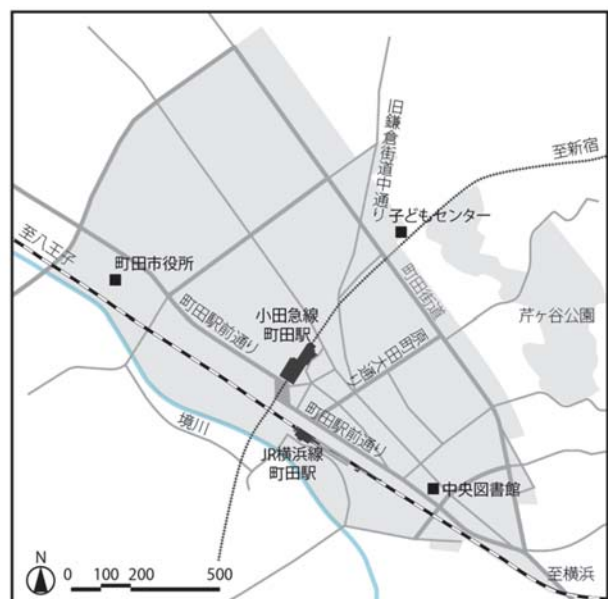
町田中心地域の人口がピークを迎えると予想される2030年の明確な将来像を示すとともに、その実現のための具体的なプロジェクト及び役割分担（体制づくり）を示すことで、各々がまちづくりを進める上での“道しるべ”となる計画とします。



計画の対象範囲

町田市中心市街地整備計画の対象範囲は、「町田市中心市街地活性化基本方針（2009年策定）」における中心市街地の区域に芹ヶ谷公園を加えた、右図に示す範囲とします。

町田市中心市街地整備計画の対象範囲



次ページ | 目次

1 まちづくりの再スタート



1.1 再スタートの必要性 [P.09]

今までのまちづくりの状況・課題から、まちづくりの再スタートの必要性を述べます。

1.2 再スタートの方向性 [P.11]

まちづくりの再スタートの方向性を示します。

P.09

夢を力に！

～サブタイトル挿入予定～

目次

1 まちづくりの再スタート	…09
1.1 再スタートの必要性	…09
1.2 再スタートの方向性	…11
2 まちづくりの取り組み	…15
2.1 6つの「夢」と将来のまちの姿	…15
6つの「夢」	…15
将来のまちの姿	…16
将来のまちのイメージ	…17
2.2 プロジェクト	…21
プロジェクト	…21
プロジェクトシート	…23
1 駅前空間大規模店舗魅力向上プロジェクト	…25
2 個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト	…29
3 周辺資源をみかきまちの魅力として活かすプロジェクト	…33
4 快適で便利な交通ターミナルをつくるプロジェクト	…37
5 南の玄関口のまちづくりプロジェクト	…41
6 原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト	…45
7 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくりプロジェクト	…49
8 様々なライフスタイルを支える多機能な場を育むプロジェクト	…53
9 町田発アート・カルチャーを楽しむプロジェクト	…59
10 まちの魅力情報発信プロジェクト	…63
3 まちづくりの進め方	…69
3.1 進め方の視点	…69
3.2 取り組みの評価（測定指標の設定）	…73
3.3 まちづくりの体制	…77

2 まちづくりの取り組み

2.1 6つの「夢」と将来のまちの姿

6つの「夢」 [P.15]
将来のまちの姿 [P.16]

まちづくりに取り組むにあたって、叶える6つの「夢」と「夢」の先にある将来のまちの姿を示します。



2.2 町役所プロジェクト

8 様々なライフスタイルを支える多機能な場を育むプロジェクト

市民ホール

4 快適で便利な交通ターミナルをつくるプロジェクト

7 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくりプロジェクト

プロジェクト [P.21]

“将来のまちの目指す姿”を実現するための1/6のプロジェクトを掲げます。

プロジェクトシート [P.23]

各プロジェクトの実施内容・進め方等を示します。

10 情報

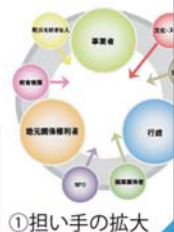
3 まちづくりの進め方

3.1 進め方の視点

これからのまちづくりの進め方の視点を示します。

《進め方の視点》

- ① 担い手の拡大
- ② 既存資源の活用
- ③ 柔軟かつ広がりある進め方





[6つの「夢」]

将来のまちのイメージ [P.17]
6つの夢を実現した
将来のまちのイメージを示します。

楽しみ 生まれ 続けるまち

[将来のまちの姿]

将来のまちの過ごし方イメージ



エリアごとの将来のまちのイメージ



P.15

1 駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

2 個性と魅力あふれる 商店街 づくりプロジェクト

3 周辺資源をみがき まちの魅力として 活かすプロジェクト

5 南の玄関口 のまちづくりプロジェクト

6 原町田大通り 憩いと賑わい空間 を創造するプロジェクト

9 町田発 アート・カルチャー を楽しむプロジェクト

シバヒロ 子どもセンター 芹ヶ谷公園 (仮称)国際工芸美術館 国際版画美術館 文学館 市立中央図書館

まちの魅力 情報発信 プロジェクト

P.21

3-2 取り組みの評価 (測定指標の設定)

まちの変化を把握するため、まちづくりの取り組みの評価方法と指標の設定方法を示します。



P.69

P.73

3-3 まちづくりの体制

市民・事業者・中心市街地活性化協議会・町田市の協働でプロジェクトを進めていく体制づくりを示します。

P.77



次ページ | 本編

1 まちづくりの再スタート

町田市中心市街地は、1960年代からまちづくりを進めてきましたが、今、まちづくりの再スタートをきる必要があります。

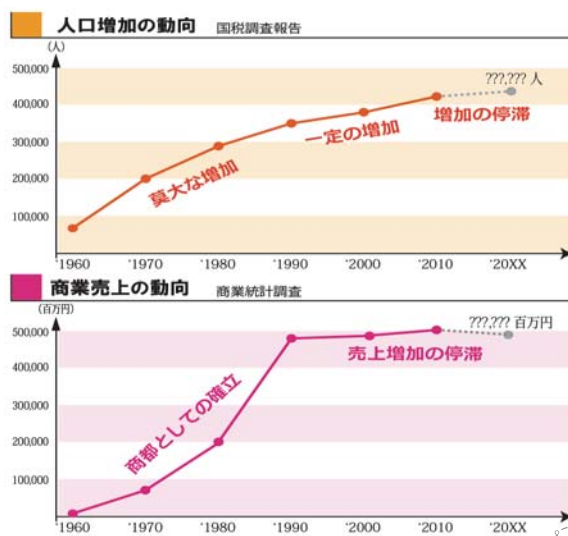
ここでは、今までのまちづくりの状況と課題や、再スタートの必要性と方向性を示します。



1.1 再スタートの必要性

再スタートが必要な理由 ① ～人口増加・商業売上増加の停滞～

全国的な少子高齢化・人口減少の中で、町田市でも人口増加は停滞を迎えつつあります。その上、近年は商業売上の増加も停滞しつつあります。これらの動向の変化への対策が必要です。



町田市中心市街地まちづくりの主な変遷

1958 町田市誕生
1960-

1965 人口10万人突破
1967 町田バスセンター開業
1971 人口20万人突破

1971 大丸町田店オープン
1972 西友町田店オープン
1976 小田急百貨店オープン

1977 ペストリアデック完成
1980-

1980 国鉄町田駅移転
1980 町田マルイオープン
1980 まちだ東急百貨店オープン

1983 人口30万人突破
1983 町田タミナルプラザオープン
1983 東急ハンズ町田店オープン

1990 町田市立中央図書館オープン

人口増加に対応した商業都市化



駅移設前の町田市中心市街地

基盤整備に伴う商業発展



1970年代から立地してきた大規模店舗
1：大丸町田店(現：町田モディ)1971年／2：小田急百貨店町田店1976年／3：まちだ東急百貨店(現：東急TWINS)1980年／4：町田マルイ1980年

再スタートが必要な理由 ② ～老朽化施設等の更新の必要性～

町田市中心市街地では、1960年代から始まった人口増加をきっかけに、駅移転に伴う駅前環境整備、大規模店舗の誘致、原町田大通りや駅前通りの基盤整備等のまちづくりが進められ、周辺都市に先んじて商業都市として発展しました。

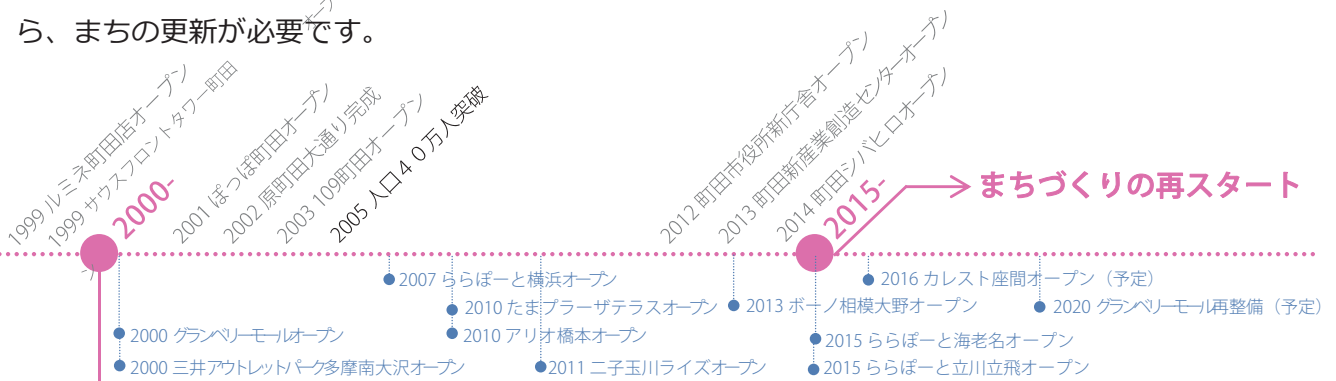
これらの取組のスタートから50年近くが経ち、駅周辺の施設の老朽化等が進んできたことから、まちの更新が必要です。

再スタートが必要な理由 ③ ～周辺都市の目覚ましい発展による埋没危機～

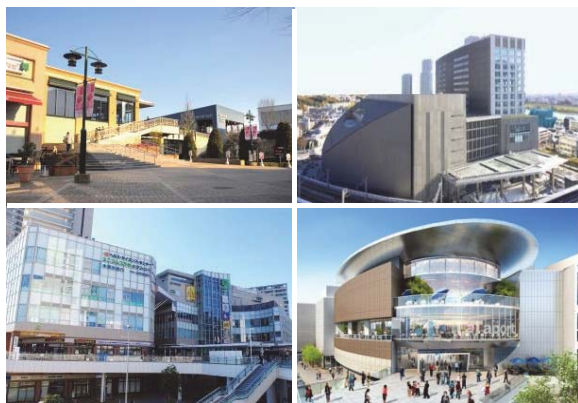
近年では、周辺都市において大型商業施設開発や駅前開発が行われ、「商都町田」は突出した存在ではなくなってきました。

さらに、今後も周辺都市の発展が進むことが予想されます。

このような状況の中で、埋没せずに選ばれ続けるための取り組みが必要です。



周辺都市発展による商業停滞



周辺都市の発展 左上：南町田（グランベリーモール） / 右上：二子玉川（二子玉川ライズ） / 左下：相模大野（ボーノ相模大野） / 右下：海老名（ららぽーと海老名）



町田市周辺の商業施設分布

1・2 再スタートの方向性

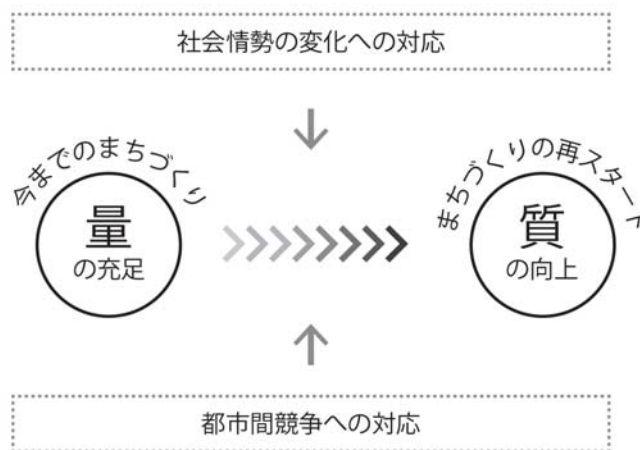
“量の充足”から“質の向上”へ

これまでのまちづくりでは、人口増加という時代背景に応じた商業を中心とした“量”の充足を行ってきました。

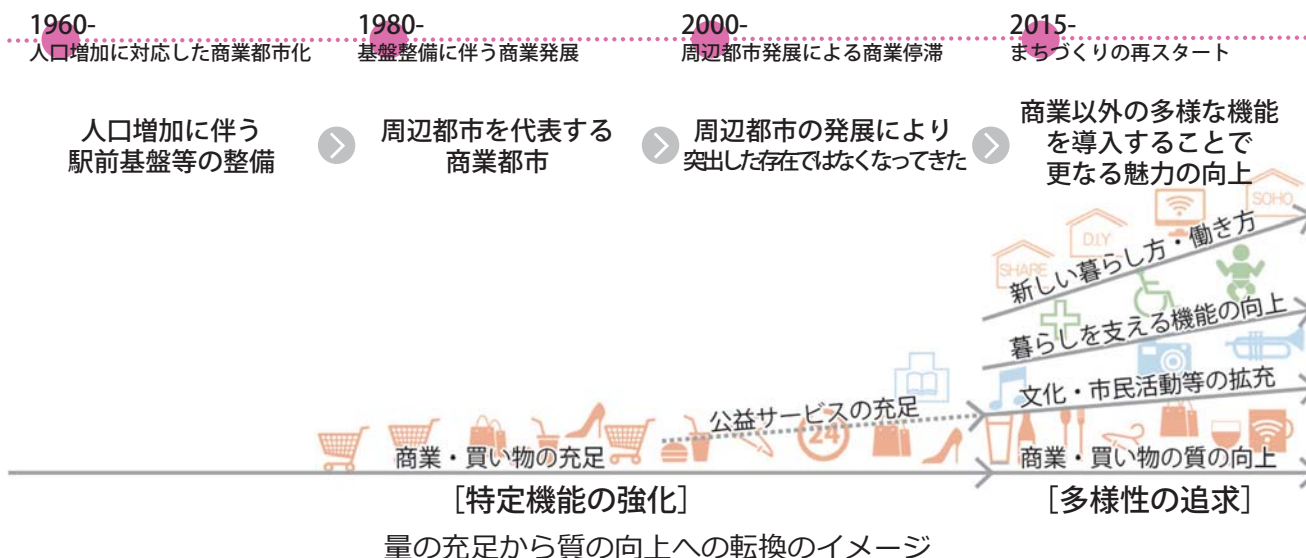
しかし、人口や商業売上の増加は停滞を迎え、これまでとはまちづくりの背景が変わってきています。

また、周辺都市の発展も進む中で、埋没せず選ばれ続けるまちにするためには他都市にない魅力を持ったまちになる必要があります。

そこで、“質の向上”に重点を置いた、多様なニーズや様々なライフスタイルを的確に捉えたまちづくりを進めます。

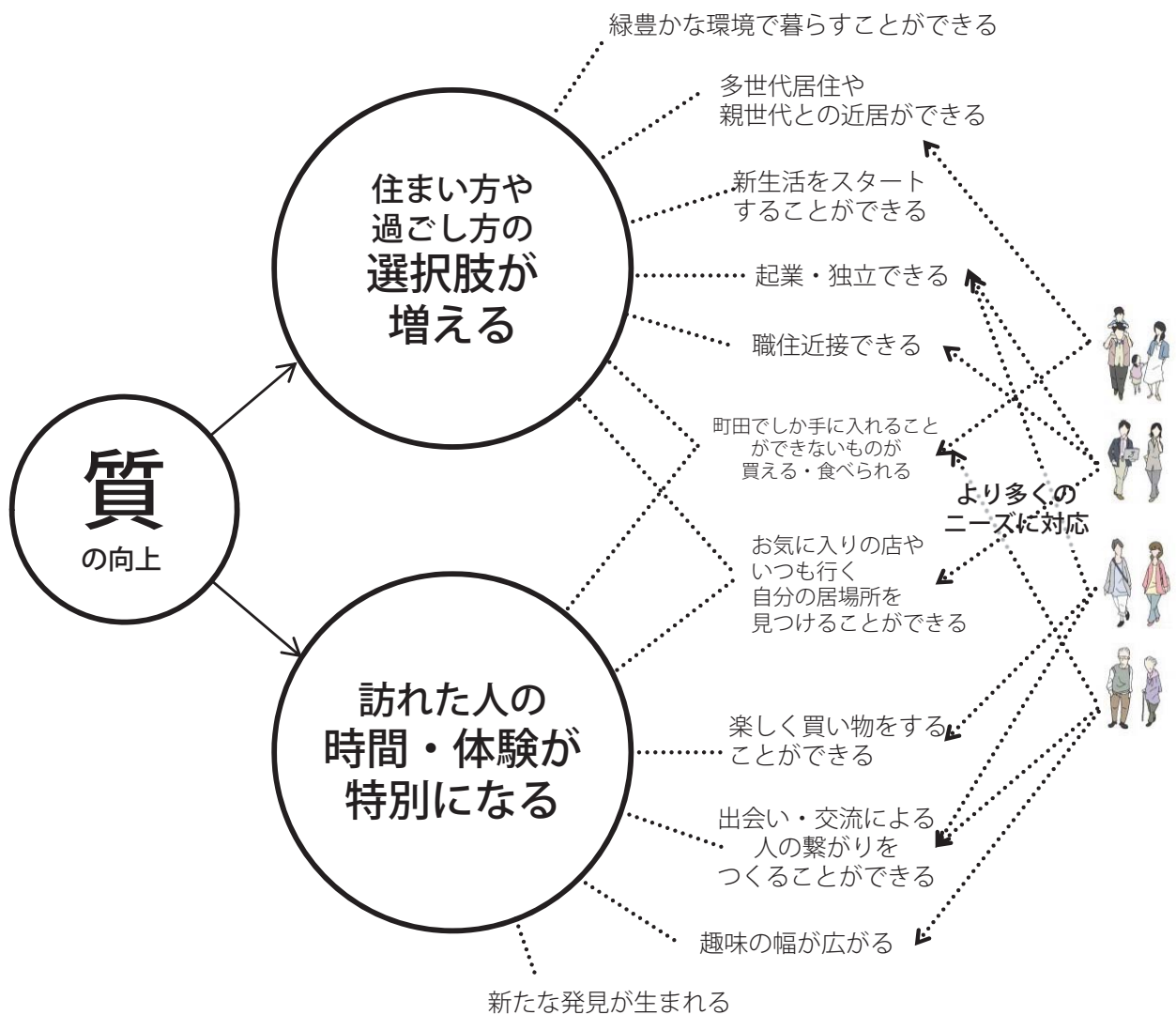


まちづくりの再スタートの方向性



“質の向上”とは

本計画では、必要なモノが揃ったり、必要な用事を済ませることができるだけでなく、住まい方や過ごし方の選択肢が増えたり、訪れた人の時間・体験が特別になるようなまちを目指すまちづくりの考え方を、“質の向上”と呼びます。



2 まちづくりの取り組み

町田市中心市街地が選ばれ、輝き続けるために
6つの「夢」を掲げ、将来のまちの姿、将来の
まちのイメージを示します。

また、具体的な取り組みとして掲げる、プロ
ジェクトを紹介します。



2・1

6つの「夢」と将来のまちの姿

6つの「夢」

人口増加や商業売上増の停滞、周辺都市の発展による埋没が懸念される中、町田市中心市街地が選ばれ、輝き続けるために、下記の6つの「夢」に向かって取り組みを進めます。



駅が快適・便利だ！

魅力ある駅前空間や、様々な場所にアクセスできるわかりやすい交通ターミナルができて、駅が快適・便利になります。

➤ **駅利便性満足度が上がっているか**等で検証



まちに行く目的がたくさんある！

個性的な店舗が増え、商業だけでなく新たな賑わい機能も生まれ、駅利用者や周辺住民の来街目的が増えます。

➤ **中心市街地を訪れる頻度が増えているか**等で検証



まちの魅力が上がり ゆっくり過ごせる！

魅力的な店舗・空間や休憩できるような広場・カフェ等の憩いの場が増え、まちの魅力が上がり、ゆっくり過ごせるまちになります。

➤ **まちなかの滞在時間が増えているか**等で検証



多くの出会い・活動 が生まれる！

様々なイベントや活動・研究内容の発信の機会が増え、人々が参加したくなり、多くの出会い・活動・新しいつながりが生まれるまちになります。

➤ **交流が増えた印象を受ける人が多いか**等で検証



ライフスタイルの 選択肢がたくさんある！

様々な働き方や住まい方のできる職住環境が整い、中心市街地で過ごす人々・暮らす人々のライフスタイルの選択肢が増えます。

➤ **暮らしやすさ満足度が上がっているか**等で検証



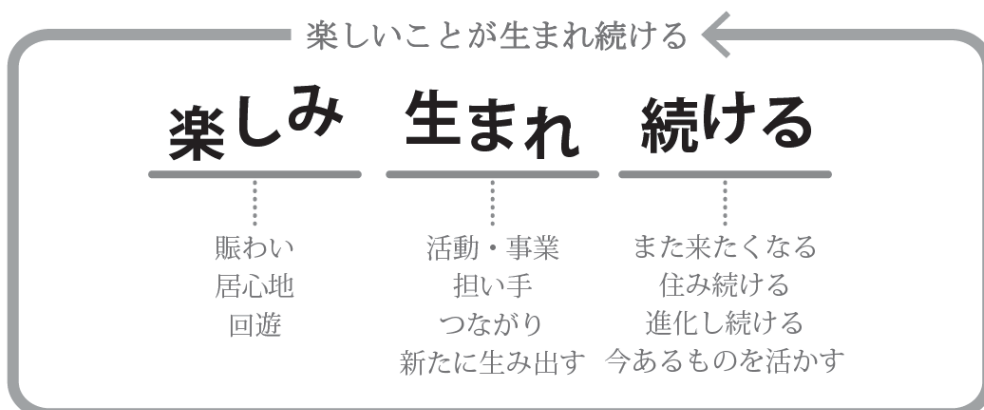
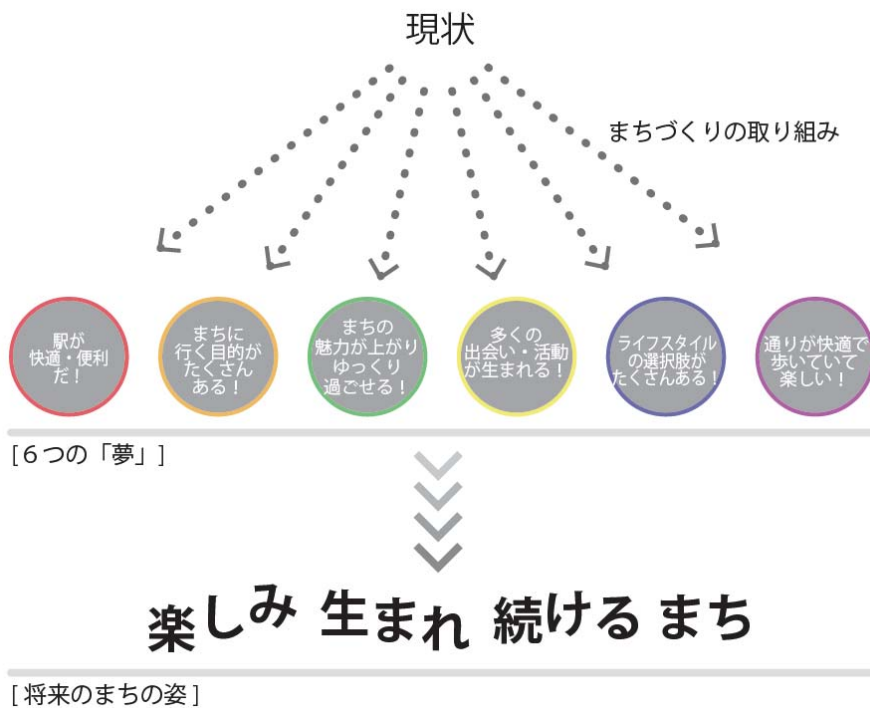
通りが快適で 歩いていて楽しい！

歩きやすい歩行空間や、散歩できるスポットが増え、快適で楽しく歩けるまちになります。

➤ **歩行環境満足度が上がっているか**等で検証

将来のまちの姿

6つの夢に向かって取り組みを進めて行くと、
楽しいことが生まれ続けるまちになります。



将来のまちの姿の意味合い

将来のまちのイメージ 1 | エリアごとの将来のまちのイメージ

同じ特性を持つエリアごとに、将来のまちの姿をイメージしてみました。

エリアごとの様々な人たちが持つ将来イメージ



駅南側にビジネス交流の機会が増え、幅が広がってきた



商店街に個性的でおしゃれなお店ができて、買い物が楽しくなってきた

駅の近くに芹ヶ谷公園に加えて大きな広場ができて、休日の新しい楽しみが増えた



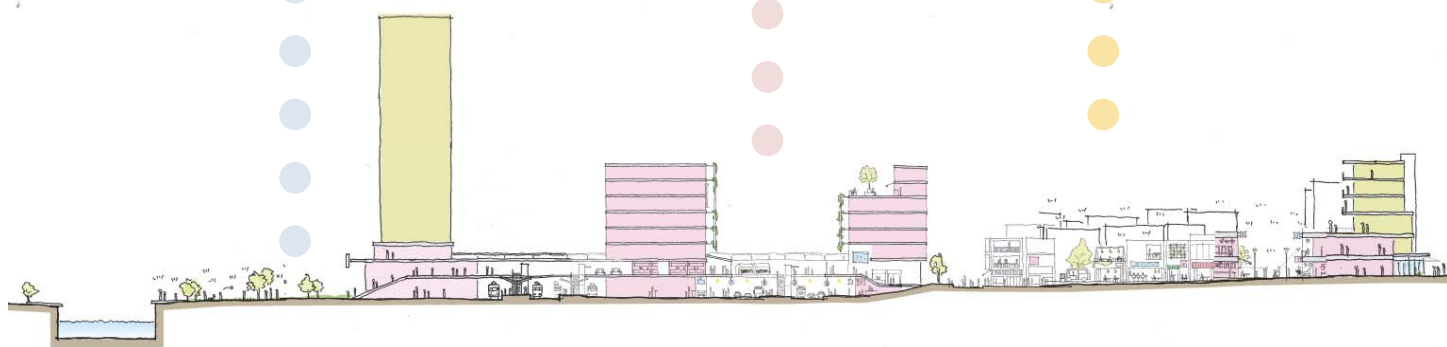
休憩できる広場やベンチが増えて、心地よく買い物や散歩ができる



駅前で待ち合わせしやすくなり、また、大きなお店もより魅力的になってきた



高速バスの本数が増え、空港へのアクセスがしやすくなった



← 境川 > ← 駅南側 > ← 町田駅 > ← 駅前デッキ > ← 商店街 >

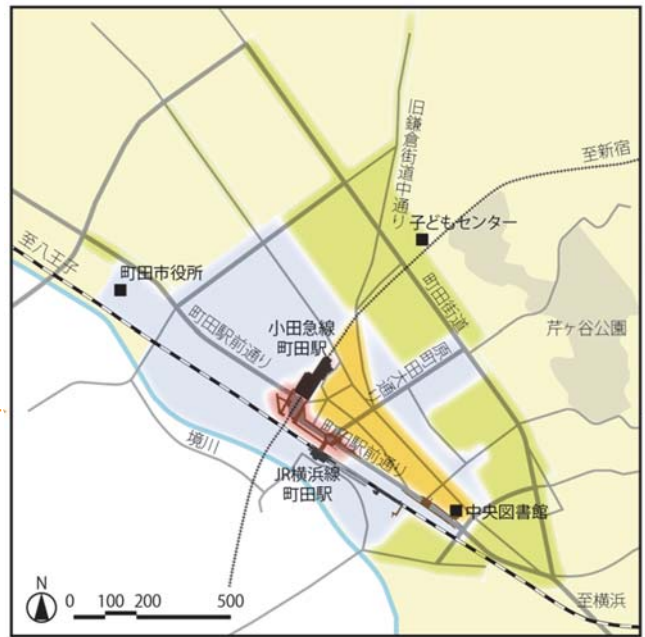
様々な機能があるエリア

駅前・大規模店舗があるエリア

商店街を中心としたエリア

エリア図

- 駅前・大規模店舗があるエリア
- 商店街を中心としたエリア
- 様々な機能があるエリア
- 都市型の居住環境があるエリア
- 快適な居住環境があるエリア



自宅の近くに行きつけのお店があるのは、とてもうれしい



新たにビジネスに挑戦する仲間が増え、いろいろな分野の情報を得ることができる



子育てのための施設や場所が増え、便利に暮らせるようになってきた



新しい美術館が増えて今まで以上に文化に触れる機会が増えた



最近、芹ヶ谷公園では、自然の中での音楽や演劇が多く行われ、新しい楽しみ方が増えた



← 町田街道 →

← 芹ヶ谷公園 →

様々な機能があるエリア

都市型の居住環境があるエリア

快適な居住環境があるエリア

将来のまちでは、様々な人たちが様々な過ごし方をすることができるようになります。
ここでは、ある登場人物にスポットを当てて、将来の様々な過ごし方をイメージとして描いてみました。

様々な過ごし方の将来イメージ

まちで
住む・働く
【平日】

中心市街地に住む若手起業家のワーキングライフ

中心市街地に職場と住まいを持つ若手起業家の中心市街地での働き方



①

朝早起きをして、近くのカフェに行き、朝食をとりつつ、ニュースを読む。



②

職場であるシェアオフィスに出勤。入居する同年代の起業家と意見交換。

③

シバヒロで週末イベントを開催する。関係者の商店主と現場設営チェック。



④

新産業創造センターに行き、引き続きイベント開催の打合せ。



⑤

流れて、若手起業家と食事することに。商店街の地元居酒屋で仕事談義。

⑥

解散後、自宅近くの行きつけバーで、マスターとおしゃべり。



まちだに
通う
【平日】

中心市街地に通う学生のまちなかキャンパスライフ

中心市街地の学校に通う学生の授業後の中心市街地の楽しみ方



①

午前中は、鉄道を利用し、専門学校に登校。

②

授業後、仲間たちと近所のおしゃれなカフェで昼ごはん。



③

午後は、友達に誘われ、新産業創造センターで社会人セミナーを受講。



④

駅前で買い物の後は、海外帰りの友達と交通ターミナルで待ち合わせ。



イメージ：西鉄天神高速バスターミナル（福岡市）

⑤

商店街を少しぶらぶらし、商店街の居酒屋で飲み会。

⑥

その後は、駅前で解散し、鉄道で最寄駅に向かう。

将来のまちを過ごす登場人物

4タイプの登場人物にスポットを当ててみました。



中心市街地居住
20-30代
若手起業家



町田市内居住
20代
学生



町田市内居住
30代ファミリー
(子ども2人)



郊外住宅地居住
60-70代
アクティブシニア

まちだで子育て【休日】

子育て世代ファミリーのアクティブ休日ライフ

休日に中心市街地で過ごす子育てファミリーの楽しみ方



①

車を駐車場に止め、線路沿いを歩いて子どもセンターに向かう。

②

子どもセンターでは、親子料理教室に参加。



イメージ：石巻市子どもセンター（石巻市）

③

パパとお兄ちゃんは、芹ヶ谷公園に移動して、子どもと一緒に体を動かす。



④

新しくできた（仮称）国際工芸美術館で体験工房に参加する。



イメージ：町田市立博物館での体験講座の様子

⑤

一方、ママと妹は、商店街沿いの広場でママ友と待ち合わせ、お茶。

⑥

合流して、商店街で買い物をして、帰宅。



まちだを楽しむ【休日】

郊外に住まうアクティブシニアの中心市街地での文化芸術ライフ

郊外から中心市街地に訪れるアクティブシニアの中心市街地での過ごし方



①

自宅からバスで中心市街地にアクセス。

②

駅前为中心市街地のイベント情報をチェック。



イメージ：渋谷駅観光案内所（渋谷駅）

③

ターミナルプラザで行われていたジャズイベントを見る。



④

文学館通り沿いの雑貨屋を散策しながら、カフェで一休み。

⑤

国際版画美術館で展覧会を鑑賞。



⑥

最後は、駅の近くの飲み屋で軽く一杯。ほろ酔いのまま、バスで自宅まで戻る。

2・2 プロジェクト



6つの「夢」の実現に向けた取り組み

6つの「夢」の実現に向けた具体的な取り組みとして、以下の10のプロジェクトを進めます。状況の変化に応じて、新たなプロジェクトの追加や各プロジェクトの内容の変更を行います。

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 駅前空間大規模店舗魅力向上プロジェクト | 6 原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト |
| 2 個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト | 7 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくりプロジェクト |
| 3 周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト | 8 様々なライフスタイルを支える多機能な場を育むプロジェクト |
| 4 快適で便利な交通ターミナルをつくるプロジェクト | 9 町田発アート・カルチャーを楽しむプロジェクト |
| 5 南の玄関口のまちづくりプロジェクト | 10 まちの魅力情報発信プロジェクト |



「プロジェクトシート」



「プロジェクトシート」

プロジェクトの目指す将来像・取り組み・進め方を共有できるように、「プロジェクトシート」として、まとめました。

まちの構造について

ここでは、「駅前」「まちなか」「周辺」を右図の範囲と定義します。

- 駅前
- まちなか
- 周辺



「プロジェクトシート」の見方

「プロジェクトシート」は、下記の①～⑪を1セットとしてまとめています。

- ① 名称
- ② 目的
- ③ 実施場所・範囲
- ④ 実施状況
- ⑤ 実施イメージ
- ⑥ 効果・効能
- ⑦ 将来像
- ⑧ 取り組み
- ⑨ 進め方
- ⑩ 担い手
- ⑪ スケジュール

プロジェクトシートの見方

1 駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

① 名称

② 目的

③ 実施場所・範囲

④ 実施状況

⑤ 実施イメージ

⑥ 効果・効能

⑦ 将来像

⑧ 取り組み

⑨ 進め方

⑩ 担い手

⑪ スケジュール

プロジェクトの進め方

プロジェクトの担い手

プロジェクトの進め方

プロジェクトの担い手

プロジェクトの進め方

プロジェクトの担い手

1

駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

これからも市内外から多くの人に足を運んでもらうため、大規模店舗の魅力向上や駅前空間づくりを進めることで、町田駅前の持つ魅力の維持と向上を図ります。

プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

デッキ下空間の環境整備

○これから取り組み始めること

取組主体による話し合いの場の立上げ



プロジェクトのイメージ



大規模店舗の魅力向上

+



駅前空間づくり



町田駅前の
魅力の
維持と向上

プロジェクトの効果・効能

充実した駅前店舗で様々なモノが手に入り、また来たくなる



夢
02

まちに行く目的が
たくさんある！

駅からまちなかに出やすくなり、
ゆっくり待ち合わせできる
緑の多い印象的な駅前空間になる



夢
01

駅が快適・便利だ！



夢
06

通りが快適で
歩いていて楽しい！

プロジェクトの目指す将来像

多くの人で賑わい他都市と差別化された印象的な風景を持つ駅前空間

大規模店舗とデッキ等の公共施設で構成される町田駅前では、多くの人で賑わい、他都市と差別化された風景を持つ印象的な駅前空間を目指す。



1 空と緑を感じる印象的な駅前景観

(大岡山駅)



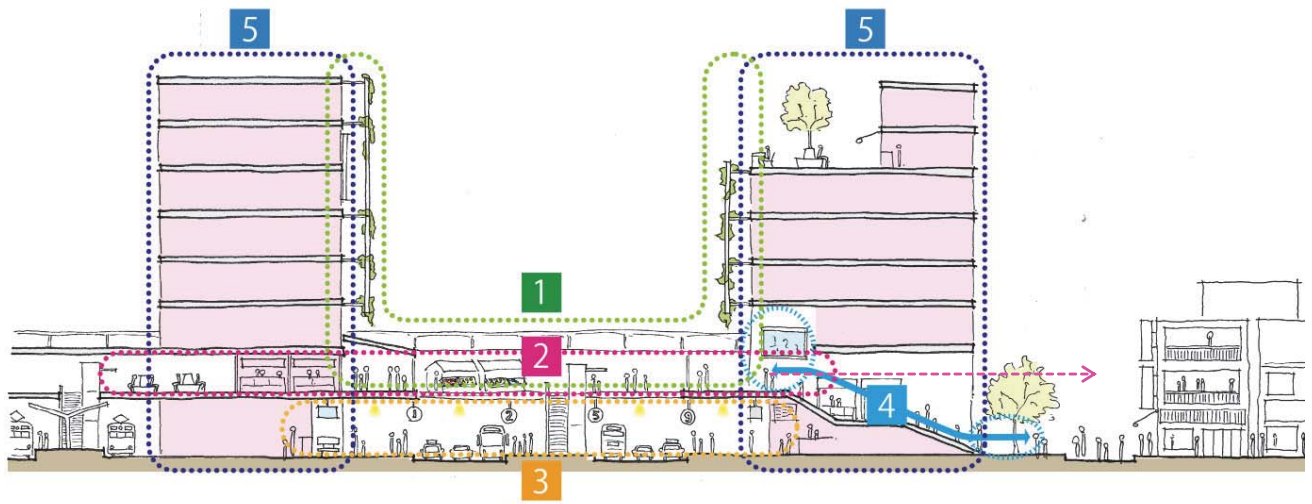
2 待合空間が充実し、賑わいのあるデッキ空間

(大泉学園駅)



2 魅力的なまちの風景が見えるデッキ空間

(姫路駅からの風景)



3 明るくゆとりのあるデッキ下

(2k540 AKI-OKA ARTISAN)



4 まちなかに出やすく賑わいのある動線

(新宿モザイクモール)



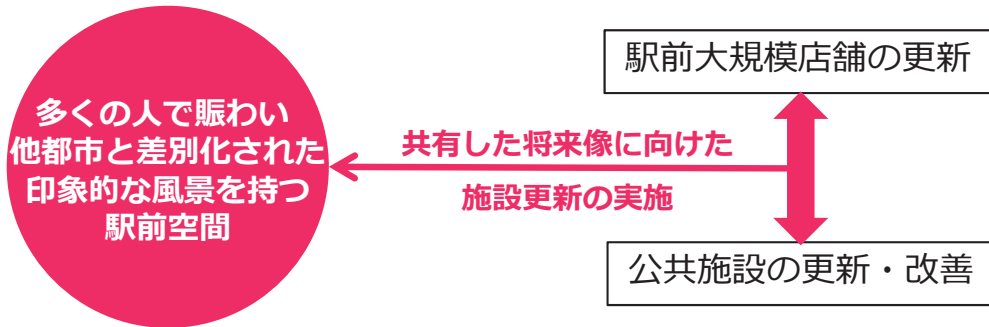
5 多彩で魅力的な店舗

左上：.デッキ上店舗/マルイ町田
 右上：新業態店舗/有隣堂トレアージュ白旗店
 左下：テイクアウトショップ/Coffee.Jr.MACHIDA
 右下：マルシェの開催/柏の葉※

※写真提供：柏の葉アーバンデザインセンター[UDCK]

プロジェクトの取り組み

将来像の実現を目指して、官民が連携しながら各々の役割分担を行い、駅前大規模店舗の更新と公共施設の更新・改善を進める。



駅前大規模店舗の更新・改善

デッキに接続する駅前大規模店舗の更新を進めていくために、更新にあたっての課題解決の方策検討を行い、更新時に将来像実現のための工夫を行う。

●更新にあたっての課題解決の方策検討

<更新において考えられる課題>

- 各種法令による制約
(建築基準法、都市計画法、東京都
駐車場条例等)
- 規模上の制約
狭小な敷地規模
- 整備可能な用地の確保
- 整備費用の捻出に向けた財源の確保

<考えられる解決策>

- 地域貢献等により法令上の制限の緩和を可能にする都市計画諸制度の活用
- 適切な事業手法の採用による規模拡大や公共施設整備

●更新時の工夫（例）

- 緑を感じる施設計画
 - ・環境に配慮したファサードデザイン
- デッキ沿いの賑わいづくり
 - ・デッキ沿い店舗配置
 - ・デッキと連続したエントランス空間創出
- 地上とデッキを円滑につなぐ賑わいある施設内動線の確保
(バリアフリー、エスカレーター等の設置、**雨に濡れない工夫**)
- 新業態店舗の導入

公共施設の更新・改善・活用

官民で連携しながら隣接する公共施設や公共空間の更新・改善・活用を通じた空間づくりを行う。

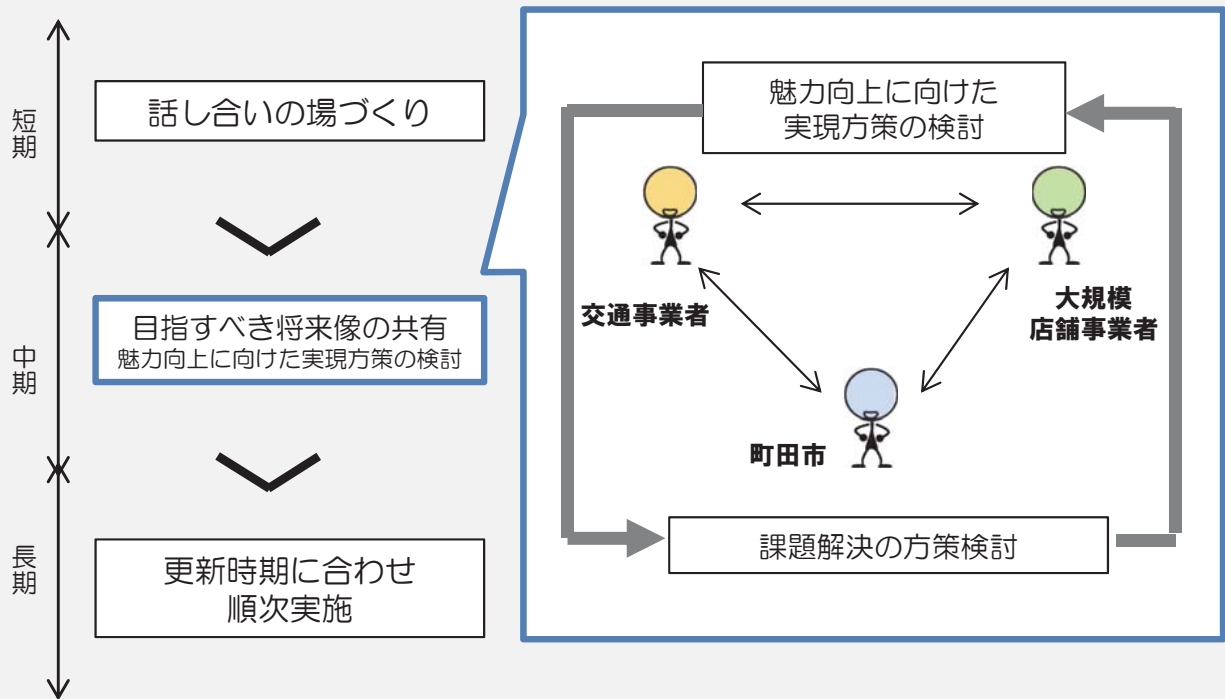
●更新時の工夫（例）

- デッキ空間の環境改善
 - ・デッキ下空間の暗いイメージの改善
 - ・舗装、施設類等のデザイン統一
 - ・景観阻害要素の改善
 - ・緑を感じる充実した待合空間の創出
- デッキ空間の活用
 - ・官民連携による賑わいの創出
 - ・マルシェ等の開催

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 町田市が大規模店舗事業者・交通事業者との話し合いの場を作り、目指すべき将来像を共有する
- 各施設の所有者等が更新時期に合わせて併せて順次実現していく



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 大規模店舗事業者 町田市
 開発事業施行主体★ 公共空間活用マネジメント組織★

【関係者】 交通事業者
 施設・植栽等維持活動団体★ 商業者等★

【町田市関係部署】 都市づくり部 経済観光部 建設部

□ スケジュール

短期で話し合いの場を設け、中期で意見交換を経て将来像を共有し、長期で実現していく

2

個性と魅力あふれる 商店街 づくりプロジェクト

来街者や地元に住む幅広い（地域、年齢層、趣味）人たちにまちなかで長い時間を過ごしてもらうために、「町田らしい商店街」づくりを行い、商店街が持つ個性や魅力の維持と向上を行います。



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

地区計画等の制度導入

駐車場隔地施策・荷捌き施策の導入

○これから取り組み始めること

セットバック空間の活用ルールの策定

プロジェクトのイメージ



町田特有の雰囲気ある商店街



個性的な店舗



個性や魅力を活かした
商店街づくり

プロジェクトの効果・効能

個性ある店舗が増え、日常の買物だけでなく、楽しみや発見ある商店街になる

→ 夢02 まちに行く目的がたくさんある！

憩いある広場や休憩できるカフェ・喫茶が増え、商店街に滞在する時間が増える

→ 夢03 まちの魅力が上がりゆっくり過ごせる！

店舗だけでなく、ギャラリーやイベントが増え、様々な情報や文化に出会える

→ 夢04 多くの出会い・活動が生まれる！

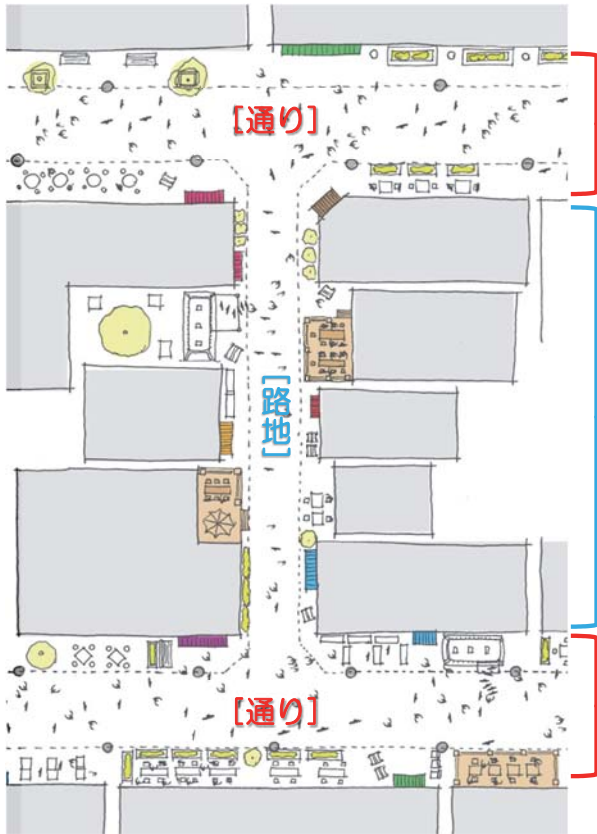
歩きやすく、緑が多い通りが増え、商店街の人通りが増える

→ 夢06 通りが快適で歩いている楽しい！

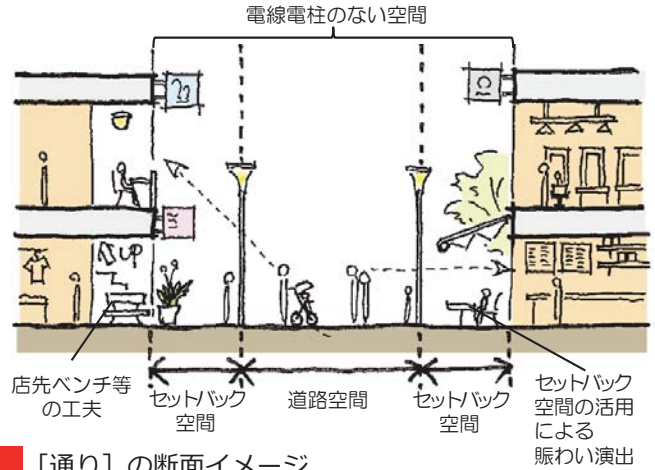
プロジェクトの目指す将来像

町田らしい「個性」「魅力」にあふれる商店街

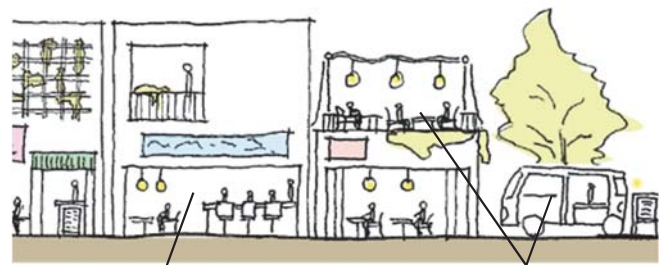
通りや路地の特徴を活かしつつ、一体となった個性と魅力ある商店街を目指す。



通りと路地など様々な特徴を持つ商店街



【通り】の断面イメージ



【路地】のイメージ

個性

×

魅力

“個性的”な店舗の充実

- 時間を過ごせる店舗 (活動やおしゃべりできるカフェやテラス)
- **なんでも揃う通り**と 雰囲気ある店舗が集まった路地の共存
- 個性的でおしゃれなモノが入る店舗
- 多種多様な店舗が並ぶ商店街

“賑わい”ある魅力的な空間

- 低層階の店舗利用等のにぎわいの連続性
- 店先の広場・ベンチなどの工夫による ゆっくり過ごせる空間
- 店内外まで賑わいが溢れ出す空間
- 憩いの空間 (緑の増加等)
- 商店街の景観



商店街にある個性的な数々の路地



憩いの空間の例／ぼぼ町田広場

プロジェクトの取り組み

中心市街地の商店街の持つ個性や魅力の維持・向上により、楽しく回遊できる「町田らしい商店街」を実現する。

商店街の個性や魅力ある雰囲気^①の維持

まちづくりルールによる用途誘導やセットバック空間活用の推進と併せ、無電柱化等の公共施設整備により、商店街の雰囲気を維持する。

- 地区計画や特別用途地区等のまちづくりルールによる誘導
- セットバック空間の活用ルール化
- 無電柱化

快適な歩行空間の実現

現状で実施している歩行者優先区間の維持に加え自動車の進入の制限等を行うことにより、歩きやすい空間をつくる。

- 駐車場隔地施策
(駐車場の隔地ルール化、民間駐車場を活用した隔地先駐車場の確保等)
- 荷捌き施策
(路上荷捌きスペースの確保等)



現状の歩行者優先区間

<取り組みのアイデア>

個性的な店舗づくり

テナントミックス事業や出店支援に併せ、店づくり講座の開催や路地を使ったブランディング事業の展開により、個性的な店舗づくりを行う。

- 様々な分野の専門家による店づくり講座の開催
(接客・店舗演出・事業展開等)
- 路地ブランディング等によるイメージ戦略
- 商店街テナントミックス事業等の実施
- 様々な出店形態への支援

誰にでもやさしい 安心・安全な商店街づくり

子どもからお年寄りまで来街する誰もが快適に過ごせる安全・安心でやさしい環境づくりを行う。

- 歩きやすい舗装
- 駐車場・駐輪場の案内
- 長時間の踏切待ちを楽しむ工夫
- ゆっくり過ごせるような駐車場運用の工夫
- 道路での悪質な販売・宣伝・勧誘の禁止徹底
- ポイ捨て禁止の徹底
- 自転車押し歩きルールの導入
- オムツ交換台、授乳室等の子育て支援設備等導入

賑わいを生み出す新たな魅力の創出

- 他分野との連携

<学校等との連携>

学校(小学校、中学校、高校、大学、専門学校等)のフィールドとして商店街を活用
学生と事業者協働の商店街づくり

<商店街で学ぶ>

商店街で朝活(朝大学等)や専門店による講座実施等学べる商店街を目指す

商店街 × 学校

※PJ8に関連

<コラボ店舗・イベント等の展開>

飲食店・雑貨店でのアート作品展示や音楽イベントの実施、町田の文化である古着とカフェのコラボ店舗等文化に触れ合う店舗展開

<イベント連携>

様々なイベントを実施し、まちなかの来街者増に結び付けるための施策展開

商店街 × 文化

※PJ9に関連

<チャレンジショップ等の設置>

新たに店舗出店を起こそうとする「起業家」の育成、支援を目的とした施設を常設し、期間限定で新出店の店舗を募集。

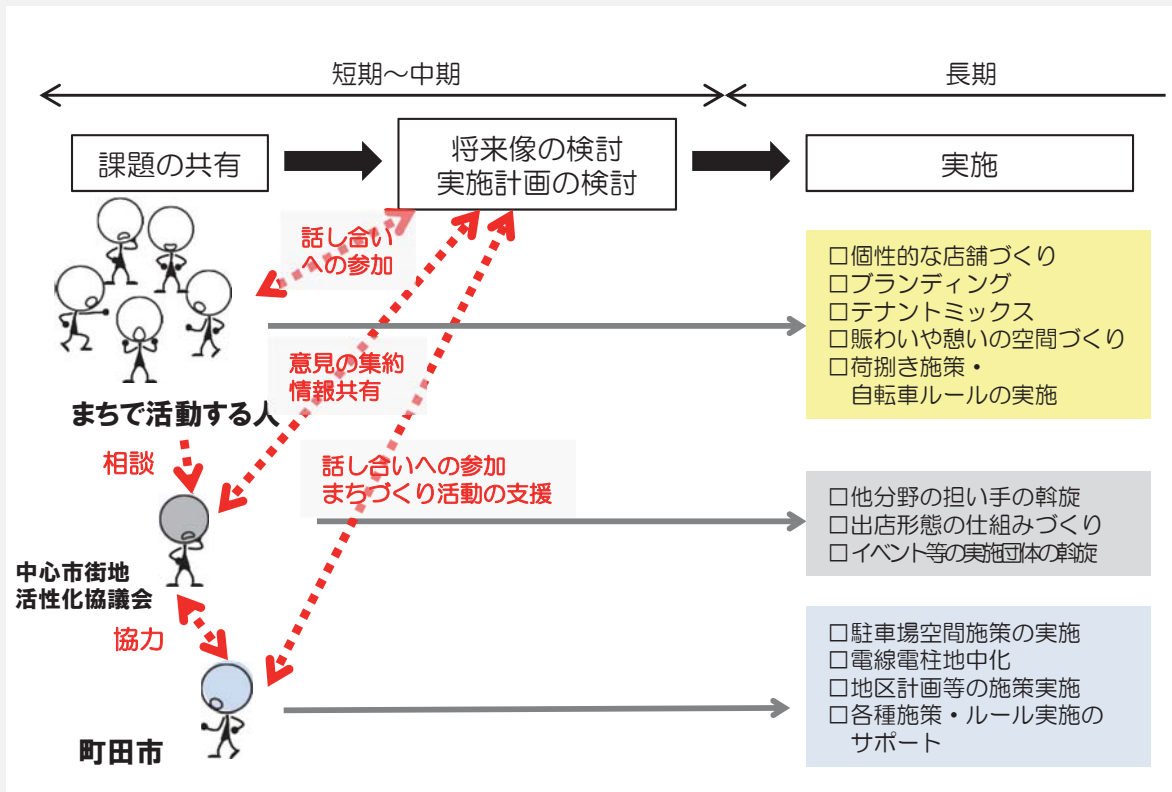
商店街 × 起業家

※PJ8に関連

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 中心市街地活性化協議会が主体となり、町田市が協力して、まちで活動する人とともに将来像の検討を行い共有する
- 各担い手が順次実現していく



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

- 【取組主体】 中心市街地活性化協議会
└ 商店街全体をプロデュースできる人★
町田市
- 【関係者】 町田まちづくり公社 関係権利者 商業者 民間事業者
まちで活動する人★(不動産業者 不動産所有者
学校 学生 住民 町田商工会議所 起業家 等)
- 【町田市関係部署】 経済観光部 都市づくり部 建設部
文化スポーツ振興部 生涯学習部

□ スケジュール

短期で話し合いの場を設け、中期で検討・制度化し、長期で実現していく

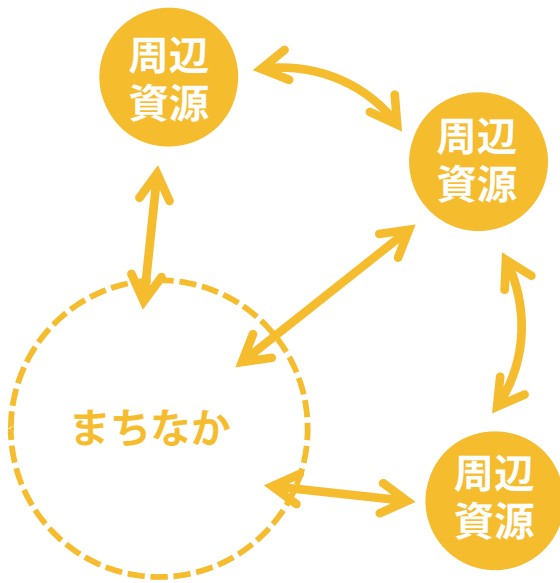
3

周辺資源をみがき まちの魅力として 活かすプロジェクト

町田駅を訪れた人に駅から少し離れた場所でも楽しんでもらうために、周辺にある資源の活用やアプローチの充実を図り、まちの魅力として最大限に活かします。



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

シバヒロでのイベント実施

○これから取り組み始めること

アプローチの魅力的な活用

プロジェクトの効果・効能

周辺でイベントや催しが増え、
まちに来る目的が増える

周辺資源やそのアプローチで過ごす
時間が多くなり、滞在時間が増える

周辺資源に向かうアプローチや資源をつ
なぐアプローチが整備され、周辺に行き
やすく、歩きやすく人通りが増える

→ 夢 02 まちに行く目的が
たくさんある！

→ 夢 03 まちの魅力が上がり
ゆっくり過ごせる！

→ 夢 06 通りが快適で
歩いていて楽しい！

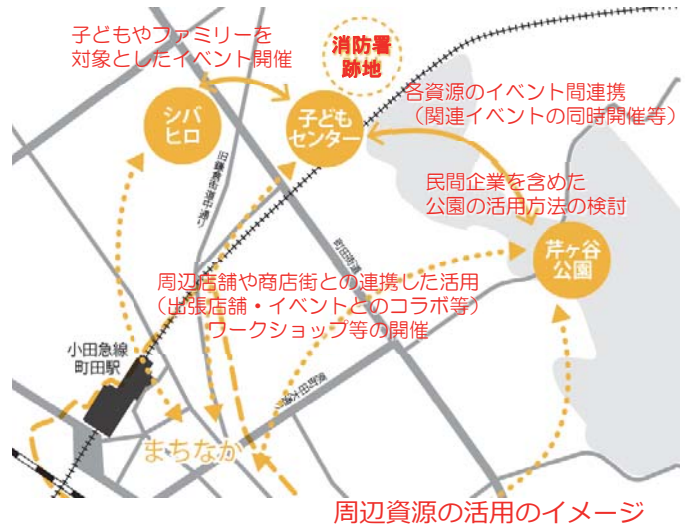
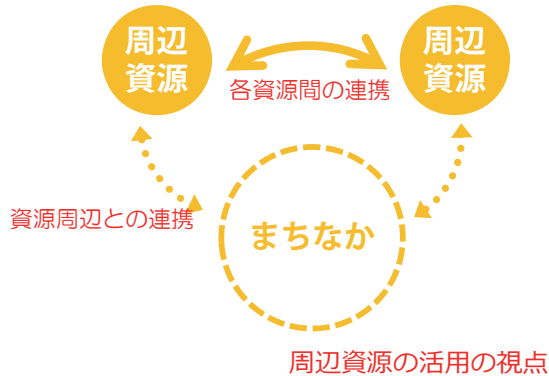
プロジェクトの取り組み

周辺資源のさらなる活用

周辺にある資源をこれまで以上にまちの魅力として活かすために、整備や活用を行う。

今ある周辺資源の活用に併せ、それらの付近にも視野を広げた活用を展開していく。

ターゲット（世代・市内外）を意識した各周辺資源の活用



●シバヒロの活用



「まちの魅力を発信し、賑わいを創出する拠点」

「人々が憩い・交流するゆとりの空間」



シバヒロの活用方針 / 「町田市庁舎跡地活用基本構想」より

●子どもセンターの活用



- ・子育て支援機能の拡充
- ・中高生の利用施設
- ・広域的な利用に対応
- ・安全安心な遊びの場
- ・利用者のニーズに対応したサービス機能

子どもセンターの活用方針 / 「町田市子どもセンター基本構想」より

●芹ヶ谷公園の活用



「まちなかで 人と緑が会い ふれあう 芸術の杜」

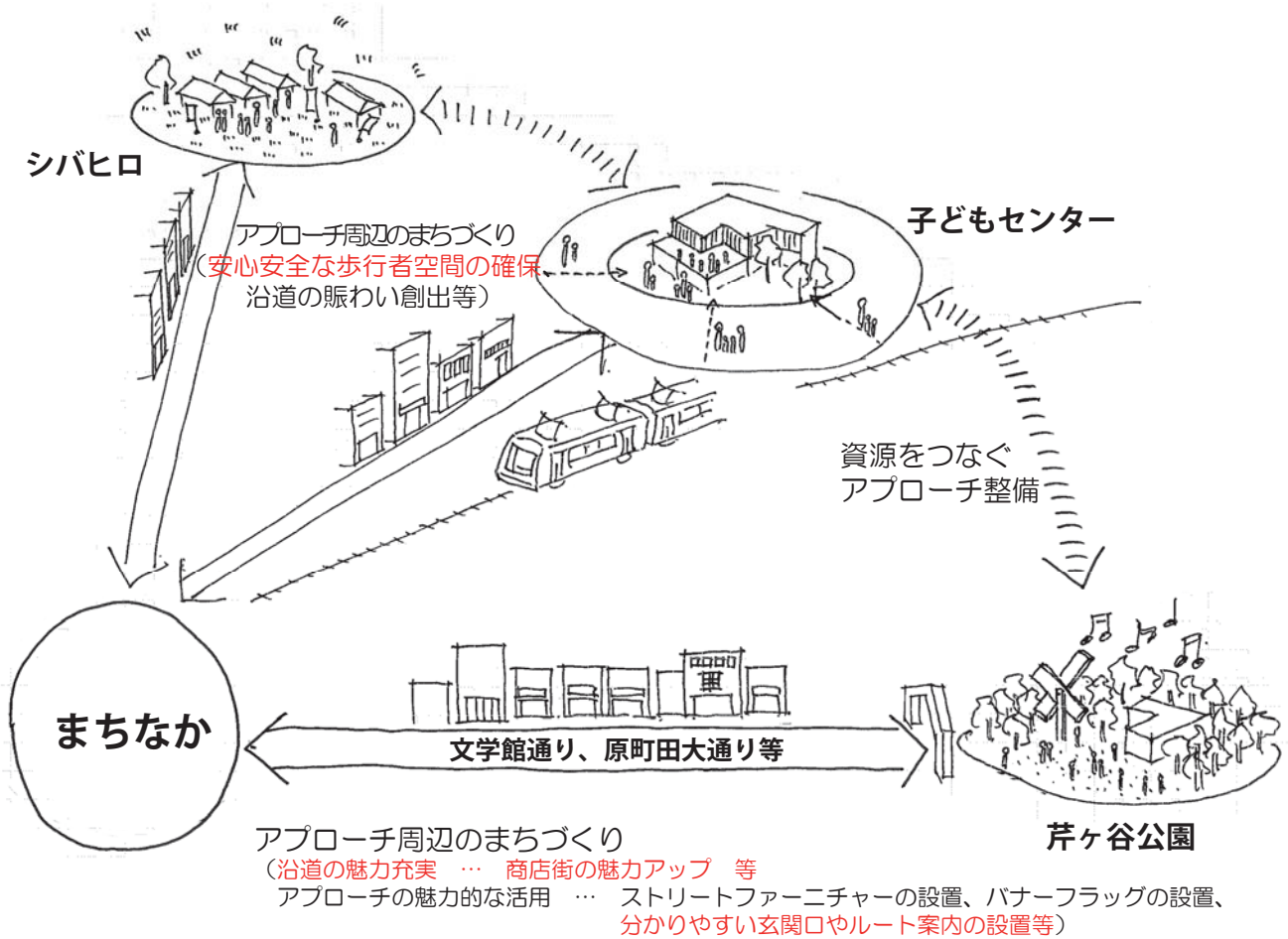
- ・明るく開放的な公園への再整備
- ・未利用地の活用 (芝生広場、カフェ、体験施設等)
- ・賑わい施設整備 (イベントステージ、大型複合遊具等)

芹ヶ谷公園の活用方針 / 「芹ヶ谷公園再整備計画 (素案)」より

周辺資源へのアプローチの充実

周辺資源の魅力づくりとともに、歩行者空間の整備やアプローチの魅力的な活用、**分かりやすいアプローチの実現**等を行う。

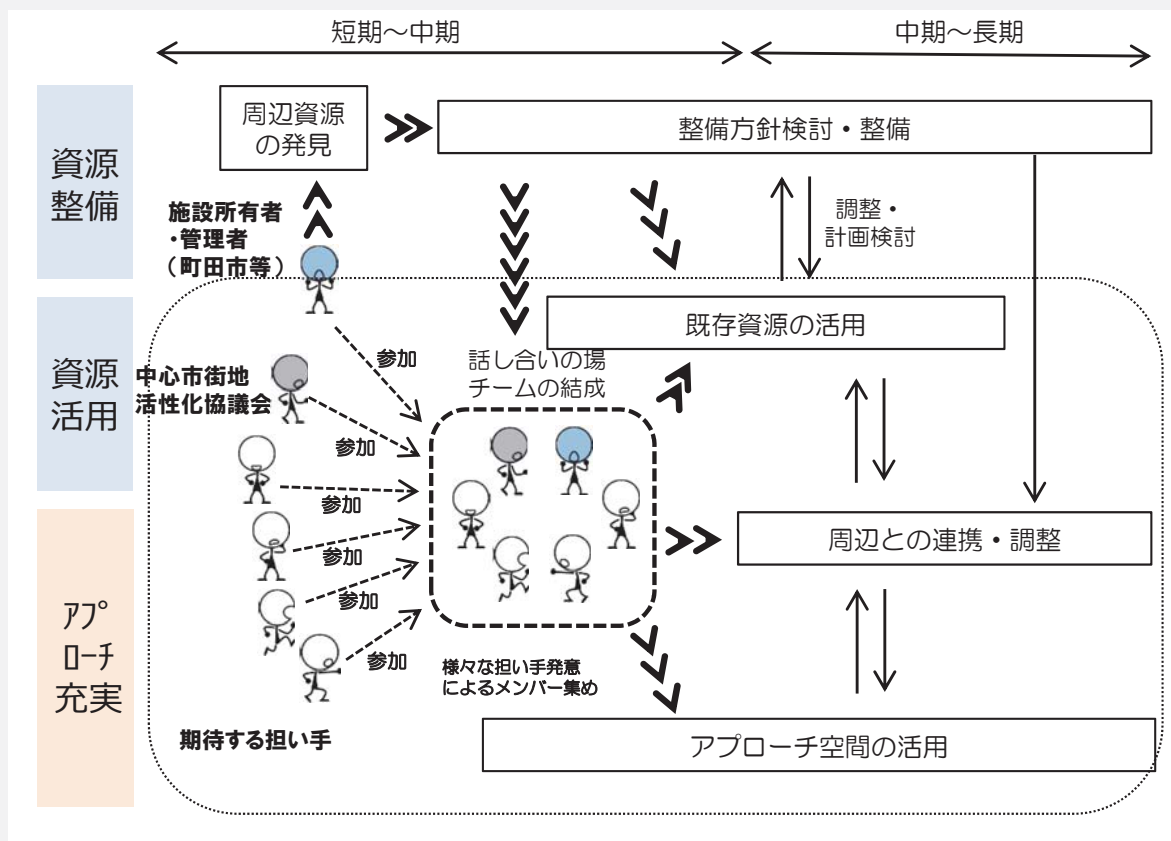
3 周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト



プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 施設所有者・管理者（町田市等）が、施設の整備を行うとともに、関係者の話し合いを踏まえ、施設間や周辺との連携を図りながら活用を行っていく
- 中心市街地活性化協議会等が施設やアプローチの活用方法について話し合いを行う



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 町田市 観光コンベンション協会 中心市街地活性化協議会
公共空間活用マネジメント組織★

【関係者】 住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★

【町田市関係部署】 都市づくり部 経済観光部 子ども生活部 建設部
文化スポーツ振興部

□ スケジュール

短期で話し合いの場づくりや検討を行い、中期から長期で活用等を行う。

4 快適で便利な 交通ターミナル をつくるプロジェクト

人が行き交い利用しやすい町田駅とするため、交通ターミナル機能の集約や広域交通の充実により、快適で便利な交通ターミナルづくりを行います。

プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

交通ターミナル候補地の選定

○これから取り組み始めること

交通ターミナル計画の検討と関係者協議



プロジェクトのイメージ



空間の不足



乗降場のわかりにくさ



動線の交錯

解消

快適で便利な
交通
ターミナル

プロジェクトの効果・効能

乗換しやすい
待合しやすい
分かりやすい

交通ターミナル
になり利用者が
増える

→ 01 夢 駅が快適・便利だ！

→ 02 夢 まちに行く目的がたくさんある！

自宅⇄駅
空港・他都市
駅⇄まちなか

に行きやすい
交通ターミナル
になり便利になる

→ 01 夢 駅が快適・便利だ！

→ 02 夢 まちに行く目的がたくさんある！

プロジェクトの取り組み

快適に使える交通ターミナルづくり

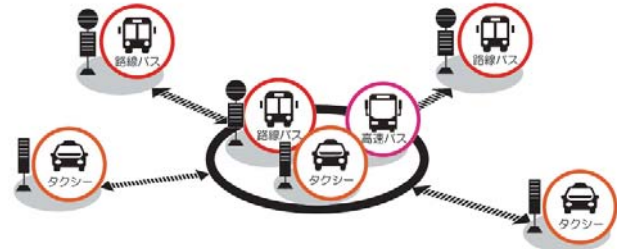
交通ターミナル機能を集約し、**老若男女・国内外からの来街者の誰にでもわかりやすく**、乗り換えや待ち合わせがしやすい快適な交通ターミナルづくりを行う。

●交通ターミナル機能の集約

現在の交通ターミナル機能のイメージ

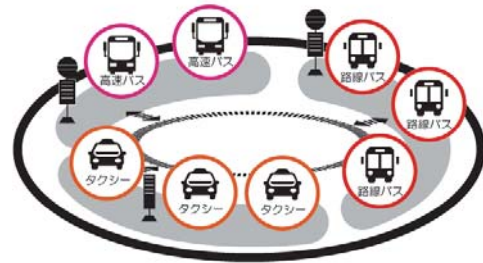
【現在の課題】

- ・空間の不足と分散
- ・乗降場の位置のわかりにくさ
- ・自動車動線や歩行者動線の交錯 等



将来の交通ターミナル機能のイメージ

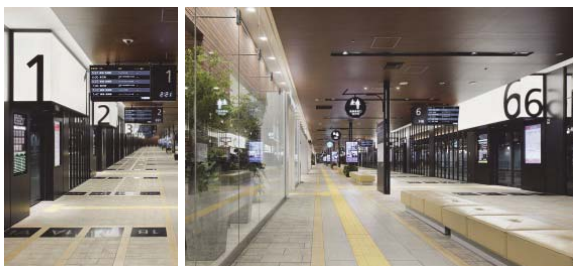
- 交通ターミナル機能の集約による乗換場所・乗換ルートの整理
- 交通手段（バス、タクシー、自家用車）ごとに余裕あるスペースの確保
- 目的に応じた歩行者動線の分離
- バス停跡周辺のまちづくり
- バリアフリー動線の確保



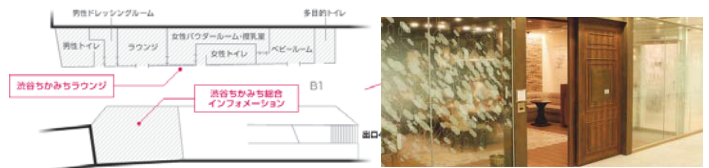
●乗場の待機スペースの快適化

快適に待機できるベンチや**売店**・カフェ等を充実させる

授乳室や更衣室等を備えた待合室を充実させる



渋谷ちかみちラウンジ



様々な機能を備えたラウンジ/渋谷ちかみちラウンジ



快適な乗場のイメージ / 西鉄天神高速バスターミナル（福岡市）

●案内表示の工夫

誰もが移動しやすくするため、案内表示のデザインの工夫や多言語化等を行う

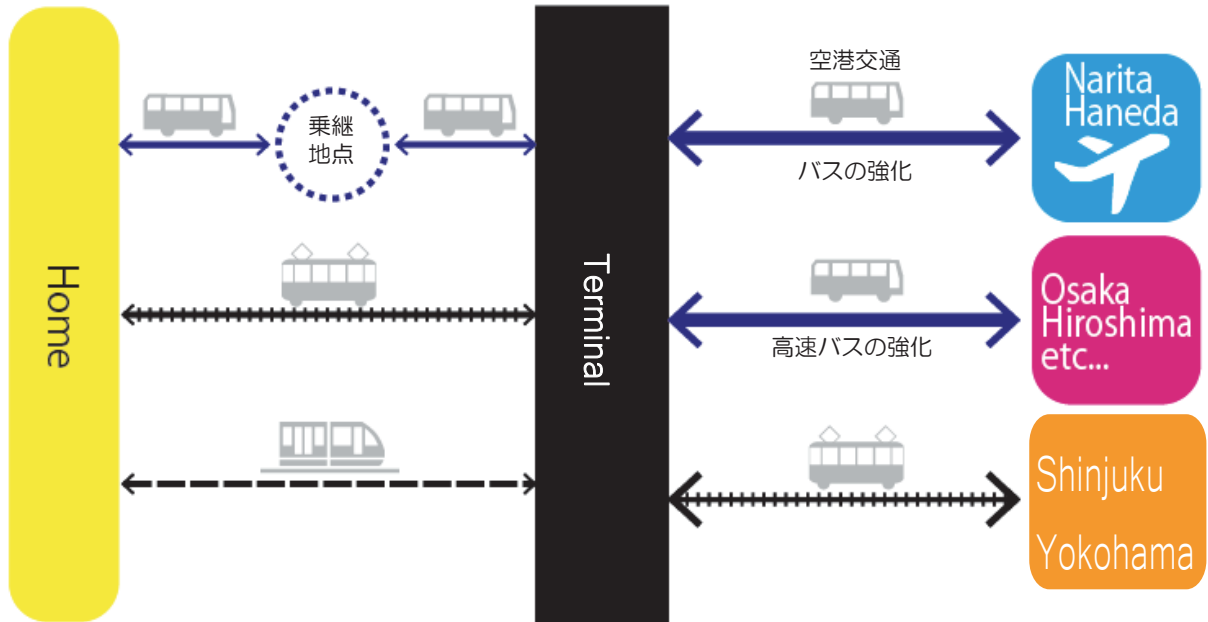
駅やまちなかへ誘導するための案内を交通ターミナル内に表示することに加え、交通ターミナルに行きやすくするための案内を駅やまちなかに表示する。



案内表示のイメージ/二子玉川ライズ

様々な場所にアクセスしやすい交通ターミナルづくり

駅に来やすく、駅から様々な場所に行きやすいようなアクセス性の向上を目指し、自宅⇄駅、駅⇄広域（空港、他都市）間の交通体系の強化を図る。

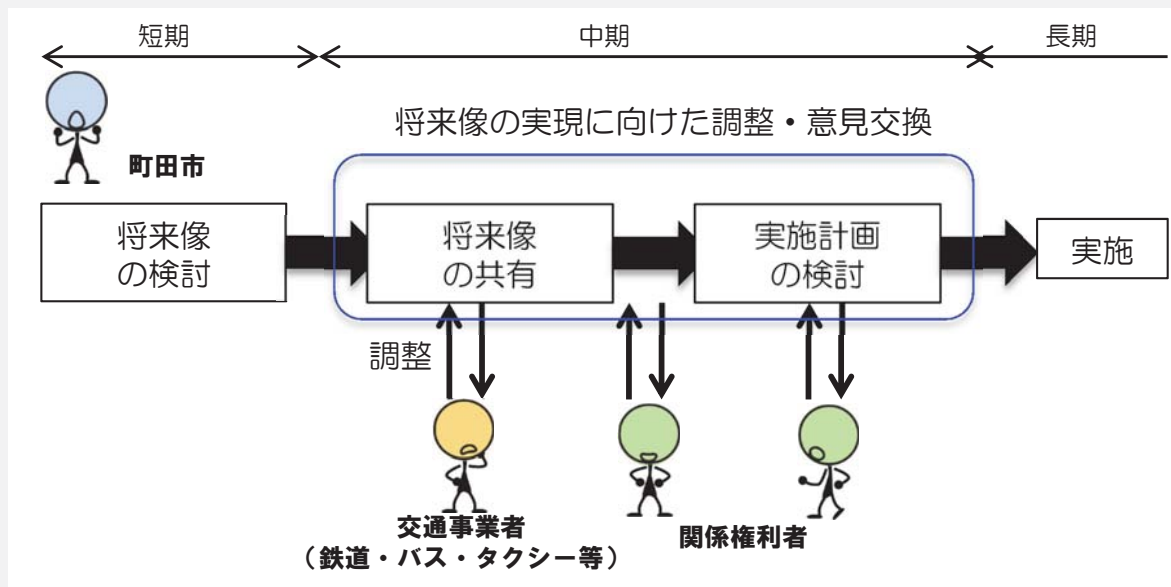


アクセス性の良い交通ターミナルのイメージ

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 町田市が将来計画の検討を行い、実施に向け、関係者と調整を図りながら交通事業者とともに実現していく



□ プロジェクトの担い手

【取組主体】 町田市 交通事業者 (鉄道・バス・タクシー等)

【関係者】 関係権利者

【町田市関係部署】 都市づくり部 建設部

□ スケジュール

短期で将来像の検討を行い、中期で取組主体—関係者間の意見交換や実現に向けた下準備を進め、長期で実現していく

5

南の玄関口 のまちづくりプロジェクト

町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化を通じて、南の玄関口を整えます。

プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

取組主体による協議

○これから取り組み始めること

整備区域・手法の検討



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの効果・効能

町田駅南側から多くの来街者が訪れ、まちなかににぎわいを生む

→ 夢01 駅が快適・便利だ！

駅前にふさわしい、利便性の高い魅力的な生活拠点をつくる

→ 夢05 ライフスタイルの選択肢がたくさんある！

プロジェクトの取り組み

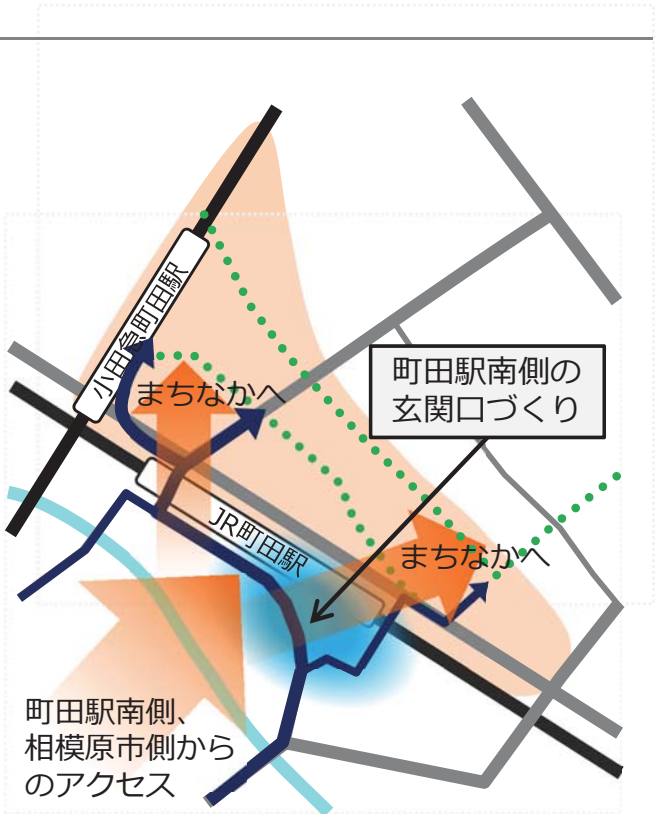
町田駅南側に来街者を迎え入れる玄関口をつくる

町田駅南側、相模原市側からの来街者の増加を目指し、市内外から多くの来街者を迎え入れる南の玄関口づくりとして、町田駅南側周辺の整備を行う。

- 玄関口にふさわしい駅前景観形成
町田駅南側の地区イメージを刷新し、南の玄関口としてふさわしい緑を感じるシンボル性ある駅前景観を形成する。
- 町田駅南側の交通広場整備
相模原市側から町田駅南側へアクセスしやすくするために、交通広場整備を推進する。
- 市営駐車場の更新
老朽化した市営駐車場の建替えにより、明るく快適で誰もが利用しやすい駐車場・駐輪場を整備する。



現状の市営駐車場

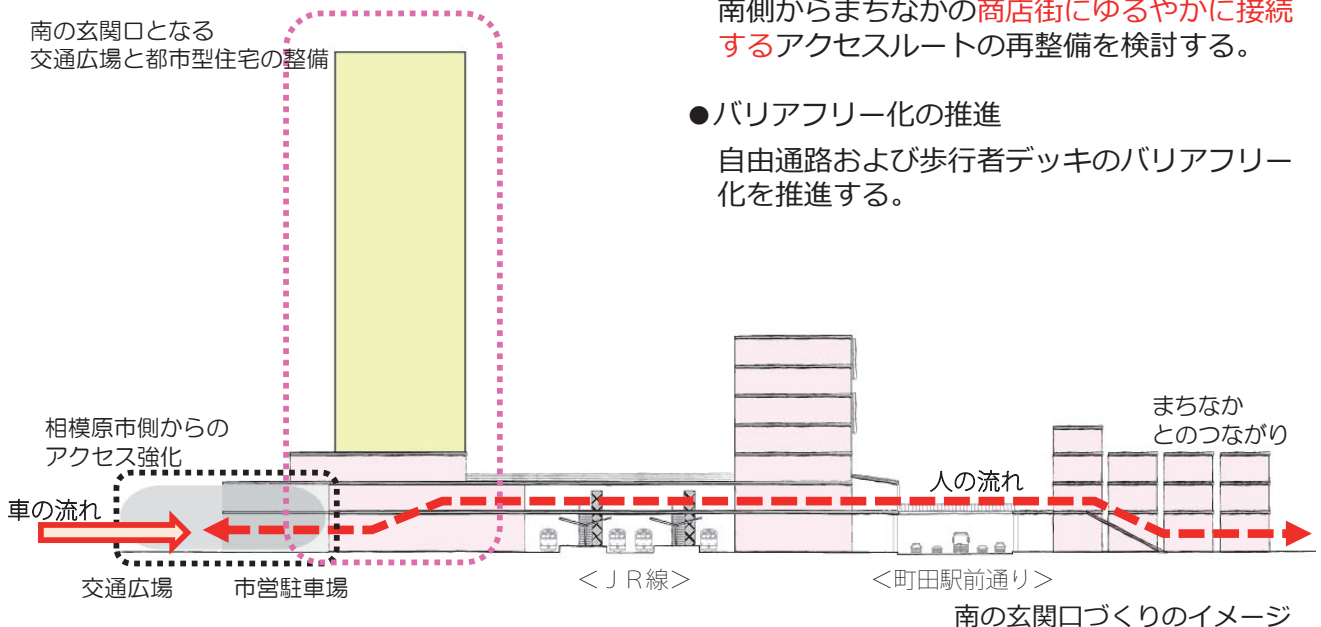


町田駅南側からまちなかへのアクセス強化

町田駅南側、相模原市側からの来街者がJR横浜線をスムーズに横断し、人の流れをまちなかへ引き込むためのアクセス強化を検討する。

- アクセスルートの再整備
既存自由通路の改良または新設など、町田駅南側からまちなかの商店街にゆるやかに接続するアクセスルートの再整備を検討する。
- バリアフリー化の推進
自由通路および歩行者デッキのバリアフリー化を推進する。

南の玄関口となる交通広場と都市型住宅の整備



駅前の生活拠点づくり

市営駐車場の更新にあわせて、市街地再開発事業等による土地の高度利用を推進し、駅前にふさわしく利便性の高い都市型住宅や、駅前居住を支える生活利便機能を導入し、便利、快適、魅力的な町田らしい生活拠点づくりを推進する。

●都市型住宅の整備

公共交通のネットワークとまちなかにアクセスしやすい利便性をもった都市型住宅を整備する。

●都市型住宅を支える生活サービスの充実

まちなかの文化・交流施設等の既存施設に加えて、駅前居住を支える便利で快適な生活サービス関連施設を誘導する。



駅前広場を含む駅直結の都市型住宅
／リズム大泉学園

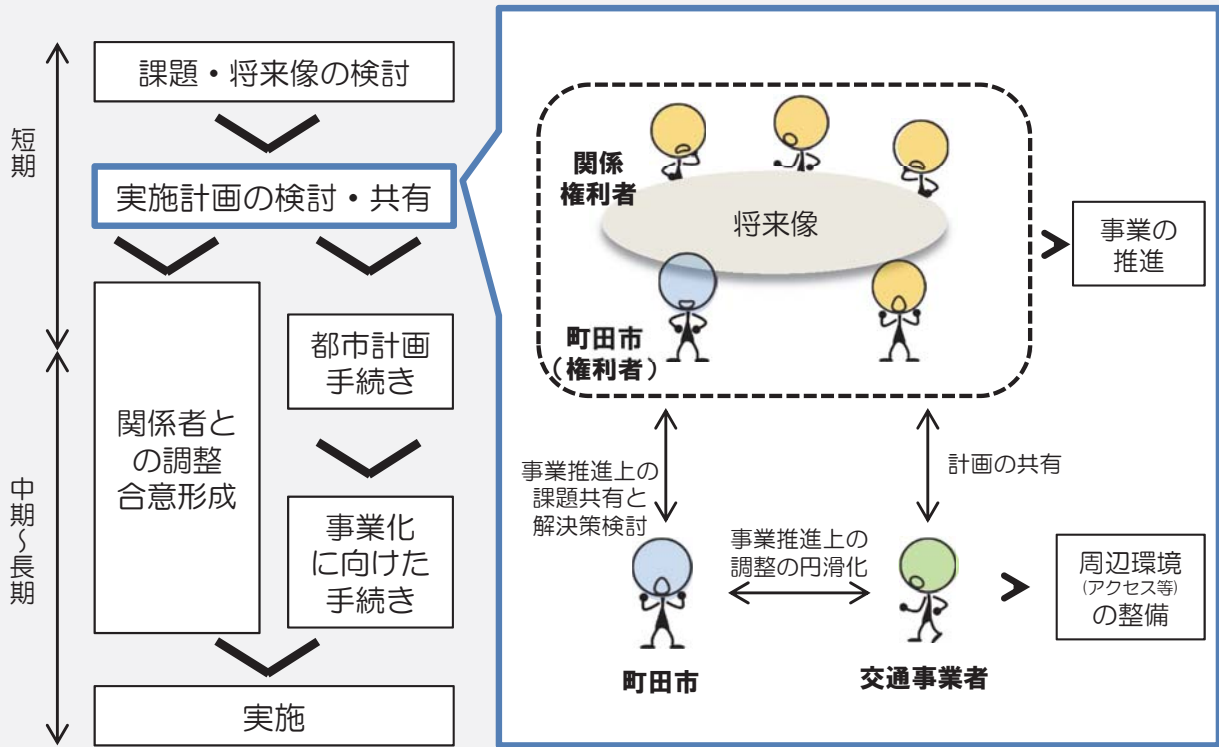


生活サービス関連施設を含む駅前都市型住宅
／アクウェル武蔵小金井

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 町田市や関係権利者が将来像の検討を行い、計画の実現に向けた調整等を行い、整備を進める



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 町田市 開発事業施行主体★

【関係者】 交通事業者 関係権利者

【町田市関係部署】 都市づくり部 建設部 経済観光部

□ スケジュール

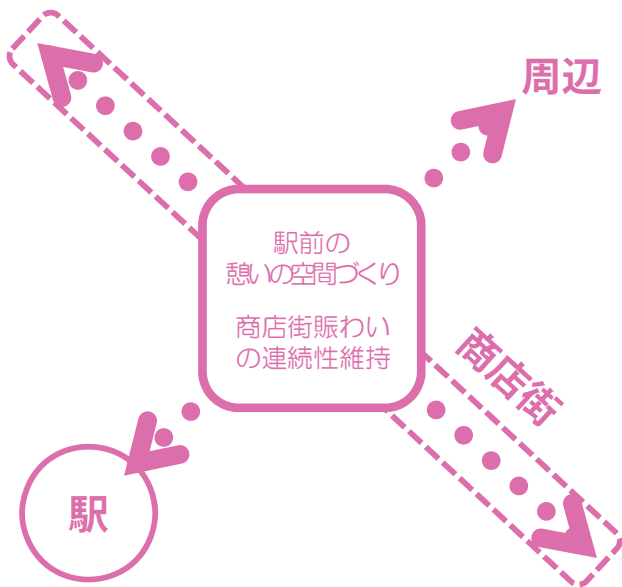
まず検討や話し合いを進め、中期から長期で整備等を進めていく

6

原町田大通り 憩いと賑わい空間 を創造するプロジェクト

原町田大通りを来街者がゆっくり楽しめる憩いと賑わい空間として活用することで、**駅前の憩いの空間づくり**や**商店街の賑わいを連続させる空間づくり**を行い、町田の顔をつくりまします。

プロジェクトのイメージ



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

プロジェクトチームによる将来像の話し合い

○これから取り組み始めること

実現に向けた道路占用特例等の制度化

プロジェクトの効果・効能

駅前から見える広がりある印象的な風景ができ、駅が快適になる

→ 夢01 駅が快適・便利だ！

イベントの実施により、駅前から様々な賑わいが見えて、来街する楽しみが増える

→ 夢02 まちに行く目的がたくさんある！

駅や商店街を利用しながら、憩うことができ、滞在時間が増える

→ 夢03 まちの魅力が上がりゆっくり過ごせる！

駅前から見える多くの人が行き交う空間で様々な活動が行われ、出会いや交流が増える

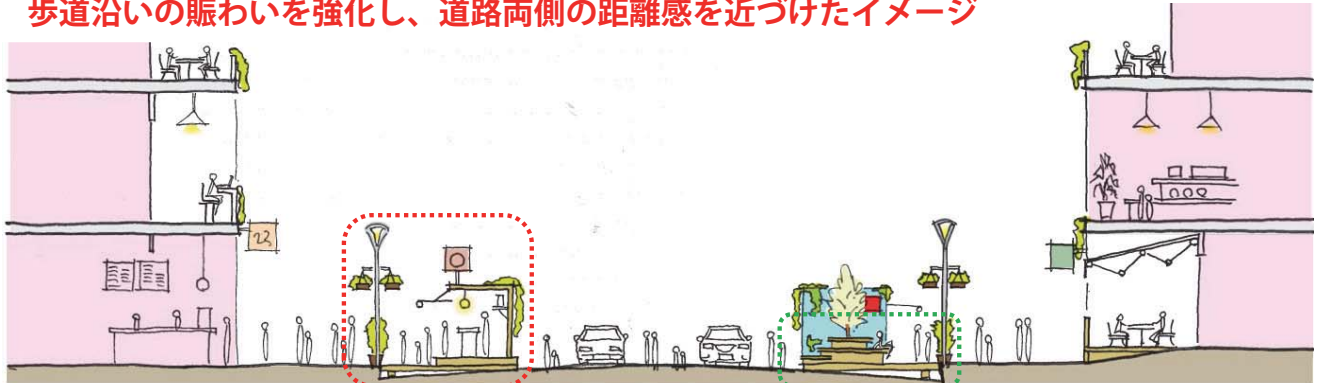
→ 夢04 多くの出会い・活動が生まれる！

プロジェクトの目指す将来像

"憩い" × "賑わい" ある 原町田大通り

駅からの人の流れを取り組むことで賑わいを生み出し、さらに商店街の賑わいを連続するとともに、まちなかの憩いの空間としても活用のできる原町田大通りを目指す。

歩道沿いの賑わいを強化し、道路両側の距離感を近づけたイメージ



店舗空間による歩道沿いの賑わい

ベンチ等による休憩スペース



歩道に設置された店舗のイメージ
／札幌大通り

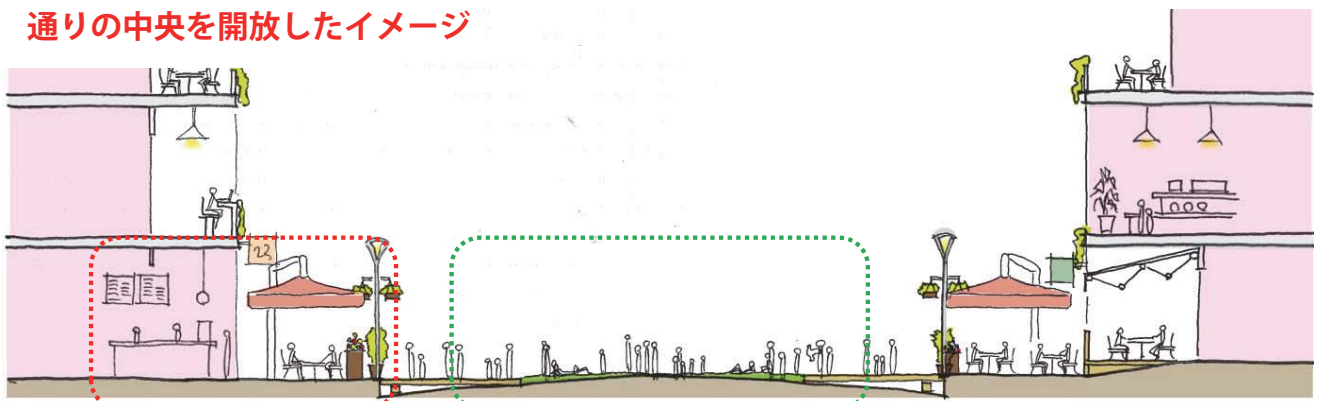


マルシェやキッチンカーのイメージ
／東京国際フォーラム



休憩スペースのイメージ
／京都 四条通

通りの中央を開放したイメージ



歩道上利用による店舗空間の拡大

通りの中央を開放した空間の利用



歩道上の店舗空間利用イメージ
／横浜 日本大通り



道路路上におけるスポーツイベントのイメージ
／日本橋



通りを解放した芝生空間のイメージ
／大阪 御堂筋

プロジェクトの取り組み

原町田大通りを活用した憩いの空間づくり

JR町田駅からまちなかに出るときに最初に目に入る原町田大通りを憩いの空間にしていこうと、駅前の印象的な風景をつくる。

- 緑豊かな景観づくり
- モノレール導入を見据えた空間づくり
- ゆったりと過ごせる空間づくり
(広場・ベンチ・休憩場所・木陰の確保、違法駐車改善、喫煙所位置の検討等)



現在の原町田大通り

原町田大通りを活用した賑わいの創出

一部道路占有やイベントの実施を継続的に行うことで、駅前に新たな賑わいを創出するとともに、商店街の賑わいを連続させる。

- 社会実験→道路占有による賑わい活用の実施
- イベントの実施
- 賑わいが外に溢れ出すような沿道建物の空間づくり

＜道路占有やイベントのアイデア＞

- 大規模なイベント開催
音楽祭／ビール祭り／映画祭／パレード／
展覧会／四季のイベント／スポーツ 等
- 商店街と連携した販売イベントの開催
マルシェ／朝市／オープンカフェ／
仮設店舗 等
- 芹ヶ谷公園や美術館へ誘導する工夫
アート 等

STEP 1

社会実験の実施⇒効果検証

STEP 2

道路占有特例による常設

STEP 3

イベントの継続実施



スプムレータon御堂筋 実験
/撮影：岸田文夫氏
出典：都市環境デザイン会議西ブロックホームページ



オープンカフェ/出典：新宿区ホームページ



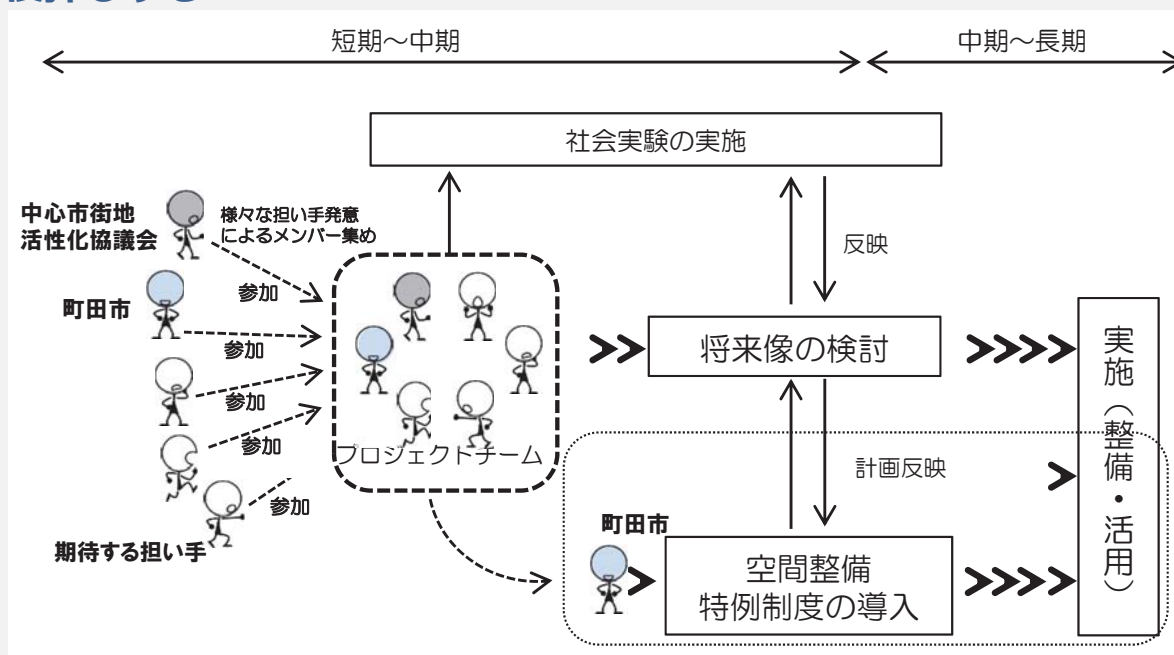
アート展/出典：新宿区ホームページ

社会実験→道路占有による賑わい活用の実施イメージ

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 中心市街地活性化協議会が、様々な担い手を巻き込みながら社会実験の実施等を通じて将来像を検討する
- 町田市が、特例制度の導入や空間整備等により、取組を積極的に後押しする



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 中心市街地活性化協議会 公共空間活用マネジメント組織★

【関係者】 商業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★ 学生★ 個人★
企業★

【町田市関係部署】 経済観光部 都市づくり部 建設部

□ スケジュール

話し合いを進め、中期で実現していく

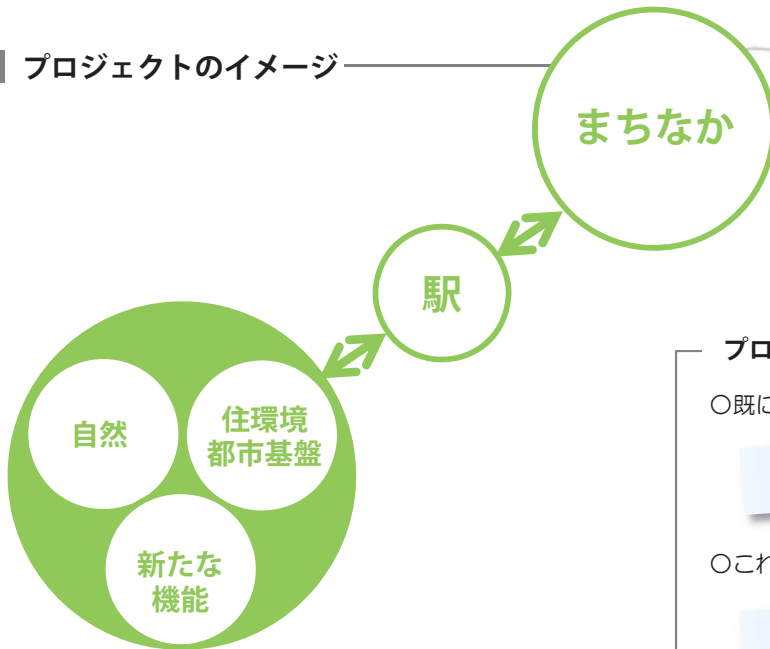
7

駅からつながる 水と緑の新たな都市空間 づくりプロジェクト

駅近くの自然豊かな空間を中心市街地の新たな魅力として活用するために、既存団地の再生を契機として計画的な土地利用を進め、水と緑の新たな都市空間づくりを行います。



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

取組主体による将来像や課題の検討

○これから取り組み始めること

森野住宅の団地再生

プロジェクトの効果・効能

デッキや道路ができ、駅や周辺からアクセスしやすくなり、来街者が増える

→ 夢01 駅が快適・便利だ！

まちなかとは違った新たな機能・魅力が増え、来街者が増える

→ 夢02 まちに行く目的がたくさんある！

駅からつながる水と緑の散策路や広場ができ、中心市街地の滞在時間が増える

→ 夢03 まちの魅力が上がりゆっくり過ごせる！

駅の近くにありながら、緑・自然を感じることのできる豊かな住まいが増える

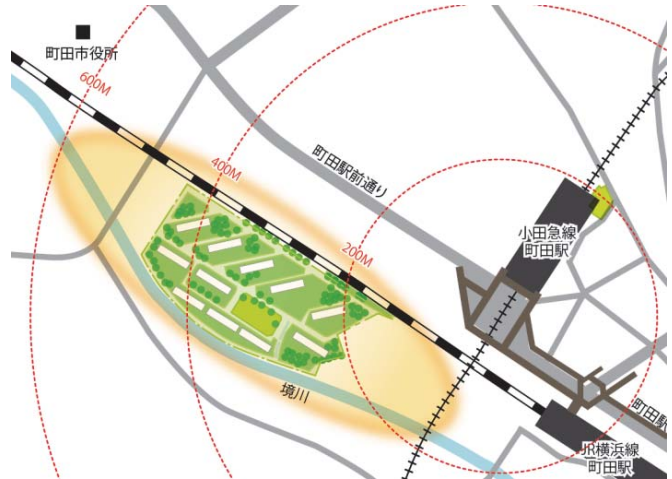
→ 夢05 ライフスタイルの選択肢がたくさんある！

プロジェクトの取り組み

駅近くの新たな都市空間づくり

森野住宅周辺は、JR横浜線や小田急線の線路と境川に囲まれた約5.5haの規模を有し、線路からの視認性もある地区である。

団地再生を契機として、計画的に空間を活用することで、まちなかとは違った中心市街地の新たな魅力づくりを行う。



● 駅近くの自然を活かした空間づくり

森野住宅周辺地区には、駅近くでありながら、境川をはじめとした多くの自然が存在する。それらの自然を活かした空間づくりを行っていくことで、中心市街地に憩いと潤いの場所をつくりだす。

● 自然を活かした空間の例

- ・ 親水空間（親水広場、ボードウォーク等）
- ・ 広場（憩い広場、芝生広場、子どもの遊場等）
- ・ スポーツできる空間（ランニングコース、球技場等）
- ・ 災害時有効な広場 等



ボードウォークのイメージ / 天王洲アイル



芝生広場のイメージ / 東京ミッドタウン



ランニングコースのイメージ / 駒沢オリンピック公園
写真提供：公益財団法人東京都公園協会



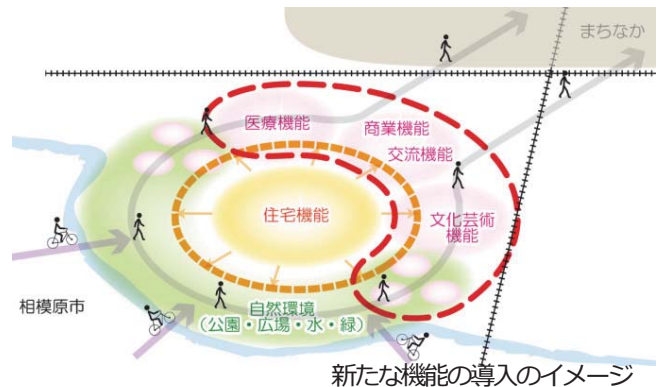
災害広場のイメージ / 横浜 ガス山公園

● まちなかにない新たな機能の導入

まちなかや駅に近い空間を活かして、地区にふさわしい新たな機能を導入し、まちなかの賑わい向上、来街者増加に寄与する。

● 新たな機能の例

- ・ 商業機能 … 映画館 等等
- ・ 文化芸術機能 … ホール、劇場、博物館 等等
- ・ 交流機能 … コンベンション、教育施設、ホテル 等等
- ・ 医療機能 … 病院、クリニック 等等



新たな機能の導入のイメージ

【事例】 様々な機能が導入されている駅前まちづくりの例 ~ 柏の葉のまちづくり ~



1	2	3
4	5	6

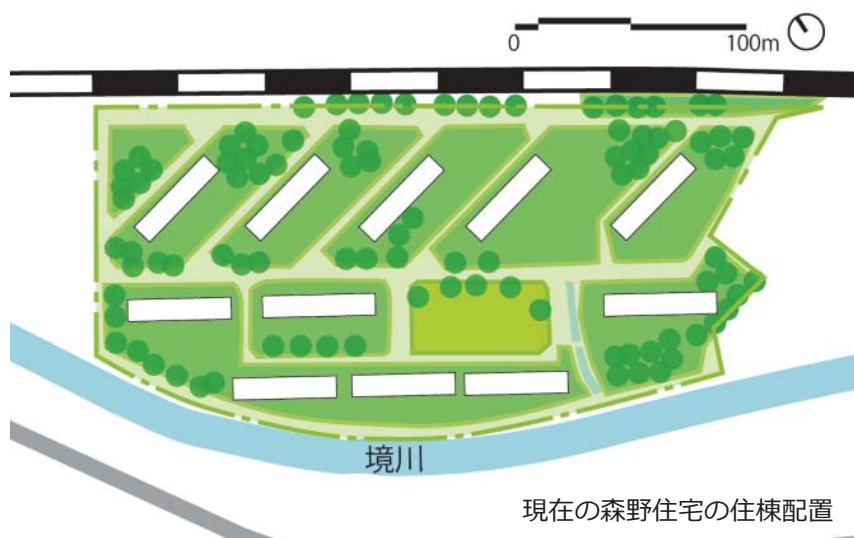
1. イノベーションラボ
2. 商業・アミューズメント
3. 健康増進
4. ホール・コンベンション
5. 大学・研究
6. ホテル

団地再生に伴う住環境・都市基盤の整備

築50年を経過する森野住宅の団地再生の計画検討の中で、住環境整備や都市基盤整備の検討を行う。

●住環境整備

森野住宅の建替えを通じ、**様々な人が過ごしやすい**駅近に相応しい住環境を整備する。



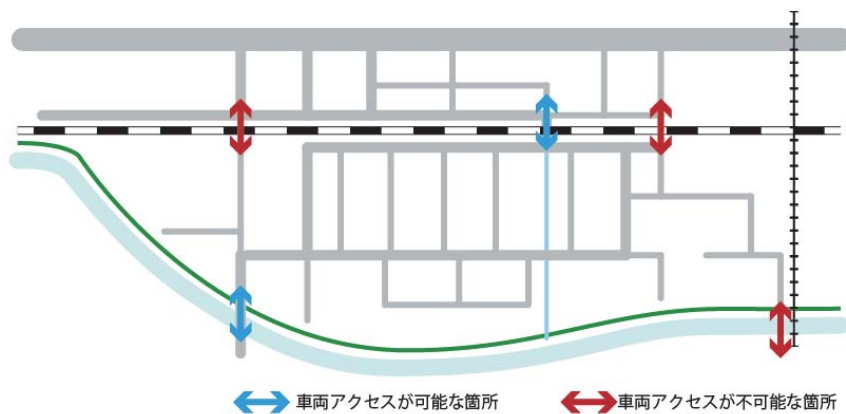
現在の森野住宅の住棟配置

団地概要：

敷地面積 約2.9ha／戸数 約430戸／昭和36～37年建設

●都市基盤整備

地区外からの自動車・歩行者アクセスの検討と地区内道路を整備する。



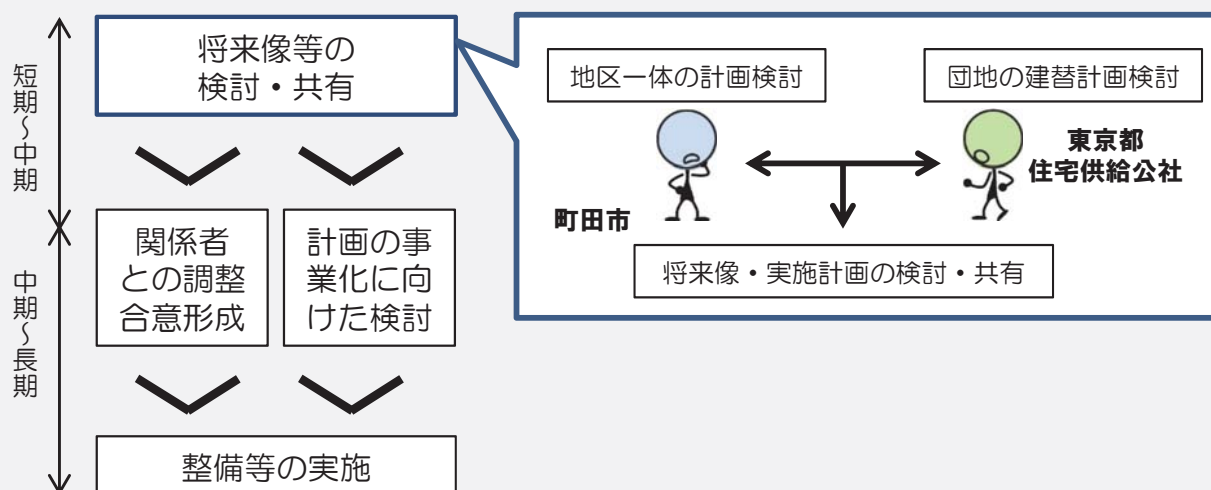
現在の森野周辺地区のアクセス道路の概況



プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 町田市と東京都住宅供給公社が将来像を検討・共有し、実現に向けた合意形成・整備等を進めていく



□ プロジェクトの担い手

【取組主体】 町田市 東京都住宅供給公社 開発事業施行主体★

【関係者】 関係権利者 交通事業者

【町田市関係部署】 都市づくり部 建設部

□ スケジュール

短期で話し合いの場を設け、中期で検討・協議を行い、長期で実現していく

8

様々な ライフスタイルを支える 多機能な場 を育むプロジェクト

中心市街地で充実した暮らしを楽しめるようにするため、幅広い人たちが活躍できる場の提供や快適な住まいづくりの提案を通じて、様々なライフスタイルを育てます。

プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

さがまち学生Clubの活動

○これから取り組み始めること

町田商工会議所、町田新産業創造センターによるビジネス活動の拡大



プロジェクトのイメージ



プロジェクトの効果・効能

新しいビジネスの場と機会が増える

→ 夢 04 多くの出会い・活動
が生まれる！

日常の過ごし方や良好な住環境の
住まいが増え、住みやすくなる

→ 夢 05 ライフスタイルの
選択肢がたくさん
ある！

プロジェクトの取り組み

将来の担い手の活躍の機会づくり

将来のまちづくりの担い手となり得る起業家や若い世代が活躍できる機会をつくる。

●ビジネスの創出や拡大の仕組みづくり

支援機関（町田商工会議所、町田新産業創造センター等のインキュベーション施設）⇔ 起業家、大学・専門学校・不動産所有者・金融機関・専門家の情報共有により、支援機関がビジネス創出の“場”と“機会”と“情報”の集積を図り、町田におけるビジネスの創出や拡大を推進する。

- ・店舗、事務所として利用可能な場所の紹介
- ・人材交流会の実施（マッチング）
- ・ビジネスの創出や拡大へのステップアップ支援
- ・事業者に寄り添った経営相談等の支援（融資斡旋・診断分析・情報提供）
- ・周辺不動産の情報収集
- ・講習・勉強会支援



セミナーの実施
／町田商工会議所



シェアオフィスのイメージ
／町田新産業創造センター

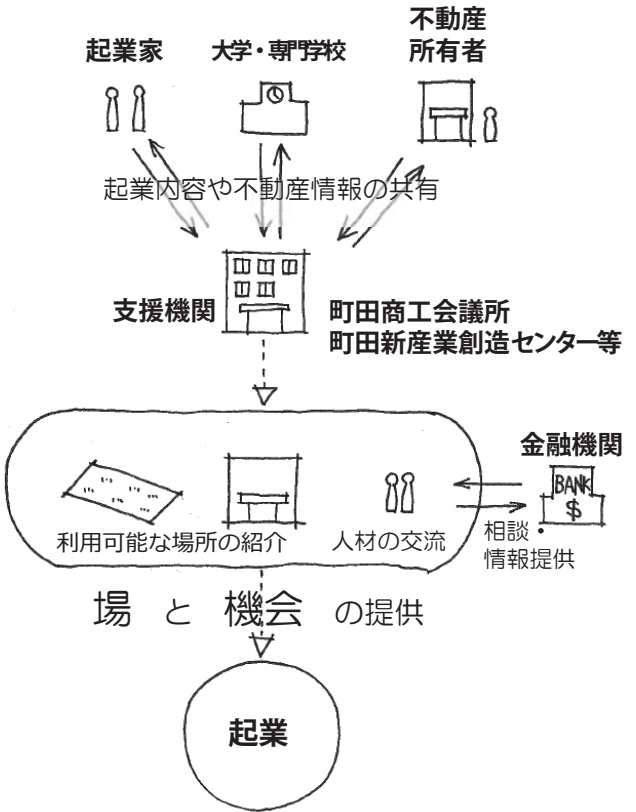
●若い世代の活躍の機会づくり

次代のまちづくりの担い手となる、若い世代（小学校、中学校、高校、大学、専門学校の学生等）が早くからまちづくりに参加し、力を発揮できる機会づくりを促す。

【事例】 町田市で既に取り組んでいる若い世代の活躍の機会づくりの例

～小中学生の職場体験～

小中学生の将来のやりたいこと探しを目的に、地域の職場で職場体験する。



ビジネスの創出や拡大への
ステップアップ支援

～さがまち学生Club～

まちづくりの担い手を育成することを目的に、相模原・町田地域の学生がまちづくり活動を企画・実施する地域活性化の取り組み。



<取り組みのアイデア>

様々なライフスタイルを生み出す 個性的な不動産活用の仕組みづくり

森野・中町・原町田地区には、近隣で働く人や住まう人に向けた個性ある飲食店や職場などの様々な機能が共存し、町田らしいライフスタイルを生み出している。一方で、町田固有の店舗が減り、町田らしい特色が弱まりつつもある。

今後も多様なライフスタイルを生み出しつつ、町田らしさを出せるような不動産活用の仕組みづくりを行う。

●新しい仕組みによる不動産活用

町田にしかない個性的な店舗づくりやライフスタイルを提供するような場所づくりのために、不動産活用を事業化へと結びつけるとともに、将来の事業者を育成するような仕組みづくりを行う。

<不動産活用の例>

- ・SOHO・シェアハウス・シェアオフィス
- ・シェアアトリエ・一軒家レストラン
- ・ローカルブランド 等

【事例】 リノベーションスクール@北九州

リノベーションスクール@北九州は同市の中心商店街の再生、空き店舗を利用した事業の内容からリノベーションの設計までの一連を対象とした短期集中のワークショップ。そこで生まれた提案を下敷き実際に事業化するためのまちづくり会社が設立され、アイデアを生み出すことと実行という1つの流れを作り出している。



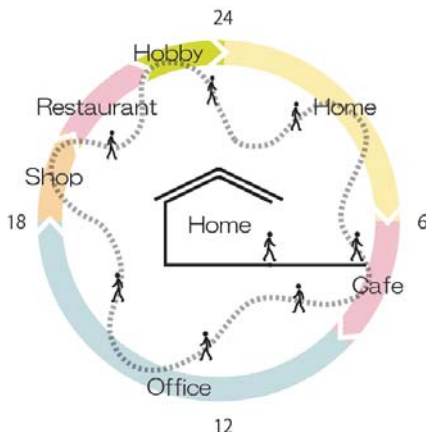
写真提供：一般社団法人リノベーションまちづくりセンター



図版提供：一般社団法人リノベーションまちづくりセンター

●新しい視点での不動産仲介

新しい貸し方をしたい不動産所有者を発掘し、ライフスタイルを提案するような不動産仲介を行うことで、不動産の価値の向上と、幅広いライフスタイルを望む人の呼び込みを図る。



不動産とライフスタイルの提案イメージ

【事例】 リアルローカル

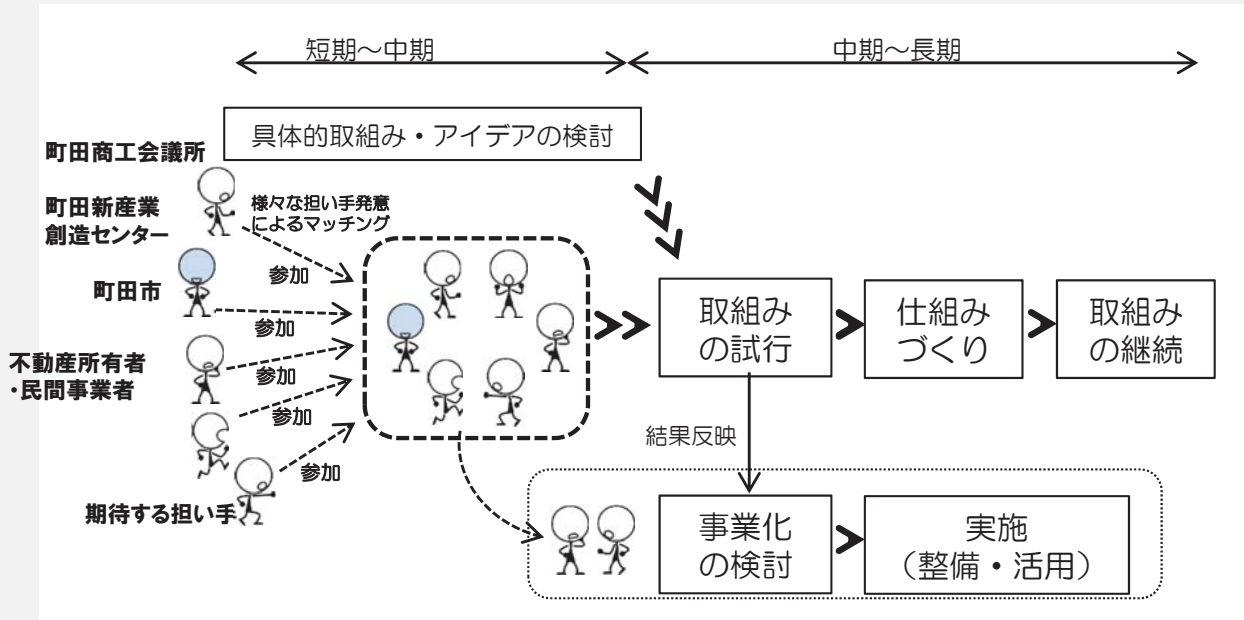
ローカルへの移住の選択肢を提供するメディア。仕事の情報だけではなく、仲間がいる・見つけられる「イベント」の情報。移住を考える時に宿り木になるような「場所」の情報、ローカルに移動しても自分のつくっているものを人に売れる「モノ」のマーケット、などリアルなローカル情報を全国に伝えるメディア。



プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

● 関係ある担い手を結びつけながら、仕組みづくりを進めていく



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 町田商工会議所 町田新産業創造センター 町田市
 起業を支援する民間組織★ さがまちコンソーシアム★
 不動産活用の仕組みを作る組織★

【関係者】 不動産所有者★ 民間事業者★ 起業家★ 金融機関★
 学校★ 学生★ 不動産業者★

【町田市関係部署】 経済観光部 都市づくり部 生涯学習部 学校教育部

□ スケジュール

短期で話し合いを進め、中期から長期で実現していく

プロジェクトの取り組み

生活を支える機能の導入推進

中心市街地への子育て世帯の転入や高齢化に備え、住まいと併せ、子育て支援施設の導入や地域包括ケアシステムの推進を行う。

- 保育施設等の子育て支援施設の導入
- 地域包括ケアシステムの推進
 - ・ 介護予防や生活支援の推進
 - ・ 在宅医療・介護連携の推進
 - ・ 在宅介護を支える介護保険サービスの整備促進



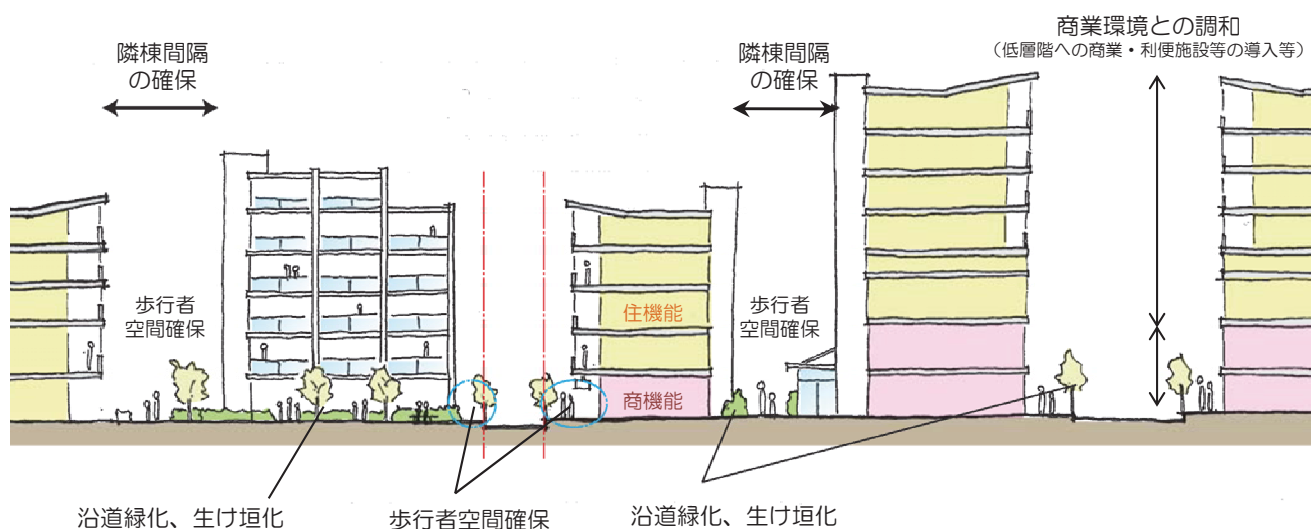
子育て支援施設のイメージ
／市立町田保育園



商業環境と調和した、 みどりある良好な住宅の誘導

周辺環境に配慮した良好な都市型住宅づくりを誘導する。

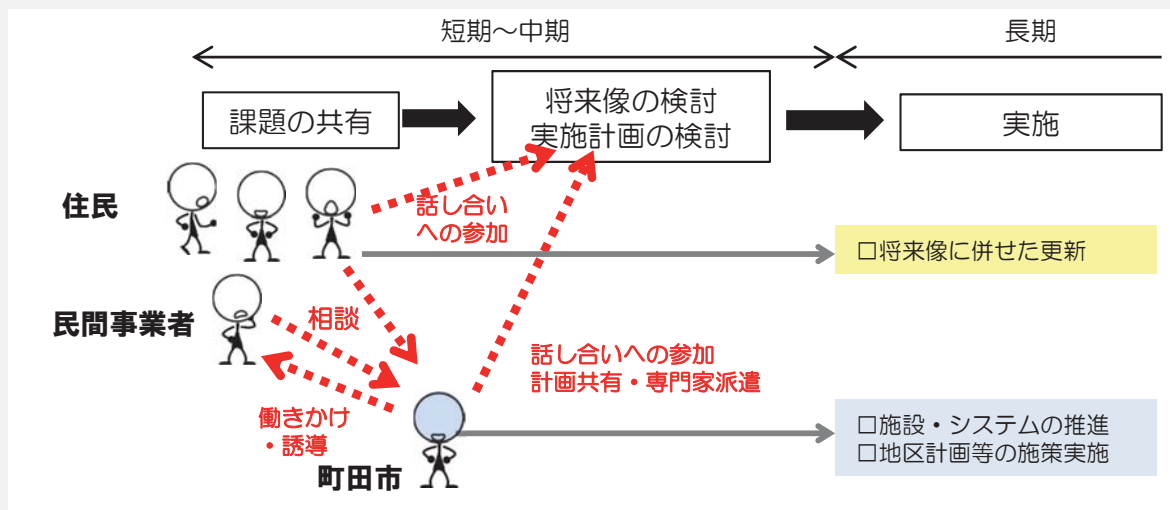
- 隣棟間隔確保等による住環境の確保
- 歩行者空間確保
- 沿道緑化、生け垣化



プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 町田市が良好な住宅づくりの実現に向けた働きかけや支援施設・システムの推進、地域発意の良好な住宅づくりの提案の実現に向けた支援を行う



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 町田市

【関係者】 住民★ 民間事業者★

【町田市関係部署】 子ども生活部 いきいき生活部 都市づくり部

□ スケジュール

短期で検討を進め、中期から長期で実現していく

9

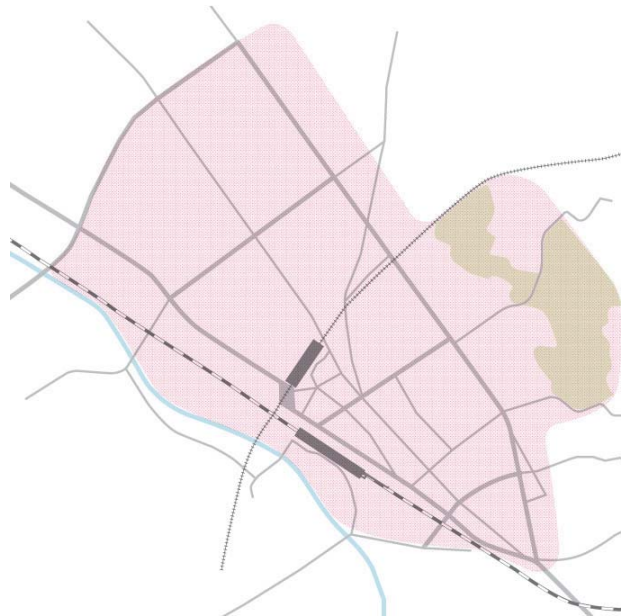
町田発 アート・カルチャー を楽しむプロジェクト

町田で多様な楽しさや感動を味わえるように、新たな取り組み、文化芸術拠点の整備等を行い、町田発のアート・カルチャーで魅力あふれるまちにします。

プロジェクトのイメージ



町田にある
様々な
アート・カルチャー
資源



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

学生と連携したイベントの企画・開催

文化芸術ホールの整備

(仮称) 国際工芸美術館の整備

○これから取り組み始めること

アート・カルチャーコンテンツ充実に向けた仕組みづくり

プロジェクトの効果・効能

様々な場所でアート・カルチャーに触れ合う機会が増え、まちに来る目的が増える

活動を発表・発信する場が増え、様々な交流が生まれ、新たな活動につながる

→ 夢 02 まちに行く目的がたくさんある！

→ 夢 04 多くの出会い・活動が生まれる！

プロジェクトの取り組み

アート・カルチャーの拠点づくり

(仮称) 国際工芸美術館や(仮称) 高ヶ坂縄文時代遺跡ガイダンス施設、文化芸術ホールの整備によるアート・カルチャーの施設づくりや 芹ヶ谷公園の再整備を進めていく。

● (仮称) 国際工芸美術館の整備

「良質な文化に触れる機会を提供し、
まちの賑わいに貢献していく拠点」

- ・周辺の文化施設や中心市街地の商店街などと連携し、まちの魅力向上、まちの賑わい創出に繋げる(仮称) 国際工芸美術館の整備



コレクション / (仮称) 国際工芸美術館整備基本計画

● (仮称) 高ヶ坂縄文時代遺跡ガイダンス施設の整備

「町田が誇る縄文文化の造形美にふれあい、
まちのルーツを体感できる拠点」

- ・国史跡高ヶ坂石器時代遺跡の展示を中心に町田の優れた縄文文化を市内外へ発信する高ヶ坂縄文時代遺跡ガイダンス施設の整備



深鉢形土器



高ヶ坂石器時代遺跡

● 芹ヶ谷公園の再整備

「まちなかで人と緑が会い
ふれあう 芸術の杜」

- ・散策しながら芸術作品に触れるアート展示スペースの設置
- ・文化・芸術を中心としたイベントステージの整備

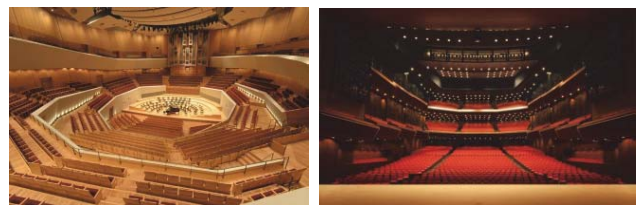


芹ヶ谷公園再整備基本計画図(素案) / 芹ヶ谷公園再整備計画(素案)

● 文化芸術ホールの整備

「まちの魅力を発信し、賑わいを創出する拠点」

- ・音楽や演劇、イベントなど多様な用途に対応できる新たな文化芸術ホールの整備

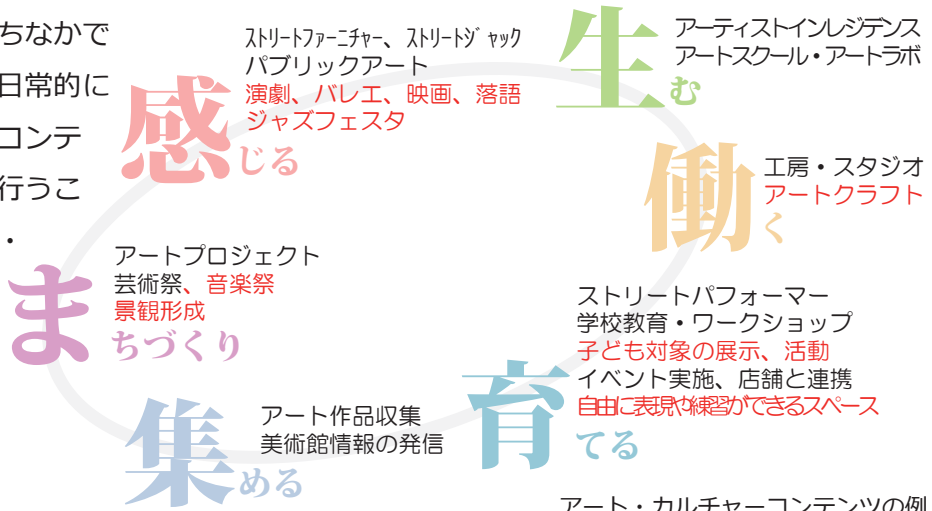


ホールの例 / 左: ミューザ川崎シンフォニーホール 提供: ミューザ川崎シンフォニーホール 右: オリナスホール八王子

<取り組みのアイデア>

まちなかでのアート・カルチャーコンテンツの充実

来街者や利用者が、まちなかでアート・カルチャーに日常的に触れ合うことのできるコンテンツやイベントを多く行うことで、町田発のアート・カルチャーの発信と育成を行う。



【事例】 各地で行われているアート・カルチャーコンテンツの例



マイケル・ランディ《アート・ピン》2010/2014
撮影：加藤健 写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会



芸術祭／横浜トリエンナーレ

横浜で3年に1度行なわれる現代アートの国際展。アートを通して、まちにひろがり、世界とつながり、横浜のまちづくりに寄与しつつ、新しい価値を世界に発信することを目指している。

アートラボ／アートラボはしもと

「アートラボはしもと」は、周辺にある美術大学などと連携し、そこで学ぶ美大生や卒業生、子どもたちや地域の方々、商店街や企業、学校、研究機関、市民グループなどと協力しながら、さまざまなアート事業を展開する「アートの活動拠点」

イベント

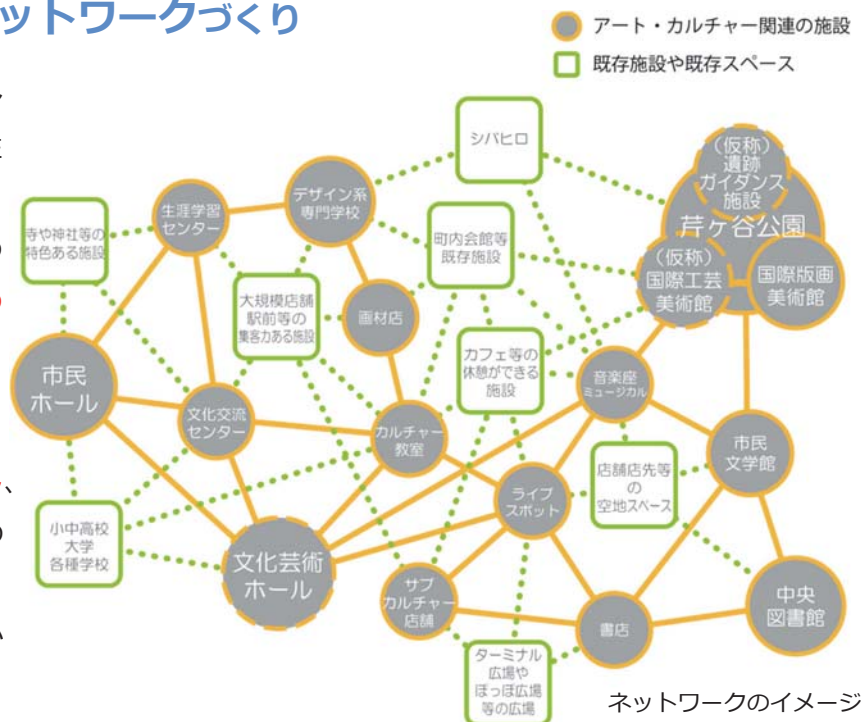
／阿佐ヶ谷ジャズストリート

企業のロビー、喫茶店、レストランなど普段の生活空間がジャズの演奏会場となるジャズイベント

アート・カルチャーのネットワークづくり

町田に既にあるアート・カルチャーに関わる施設の可能性を広げるために、アート・カルチャーの拠点となる施設の整備、**既存施設やスペースの活用**、それらを中心としたネットワークづくりを行う。

また、**施設間の連携を強化し**、様々なアート・カルチャーの情報交換やブランディング、育成を互いに連携・結びつけながら進めていく。

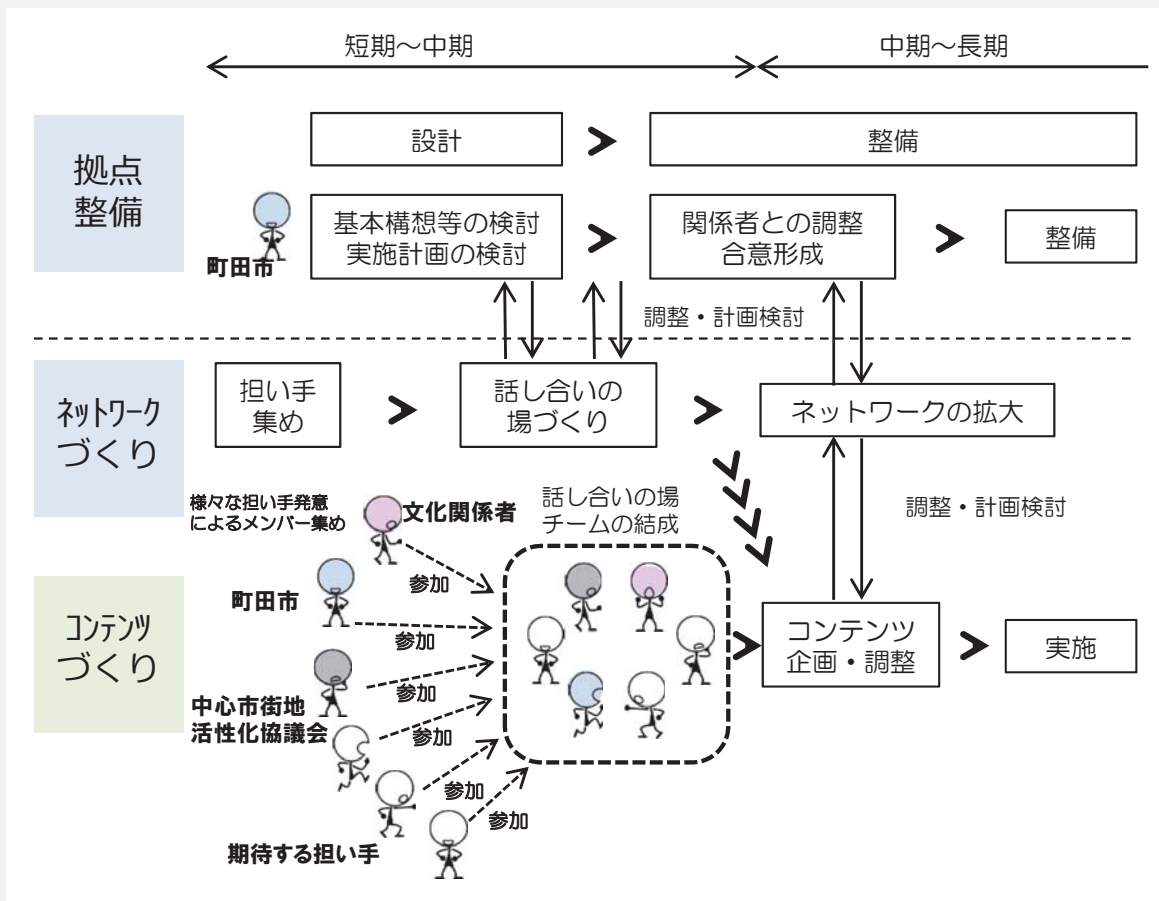


プロジェクトの進め方

プロジェクトの進め方

● 町田市が拠点整備の検討を行う

● 様々な担い手の発意と呼びかけで話し合いの場を作り、ネットワークやコンテンツをつくっていく



プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 町田市
アート・カルチャーに関わる人・団体・施設が集まる組織★

【関係者】 アーティスト★ 住民★ 学生★ 学校★ 活動団体★
文化施設所有者★ 民間事業者★ 観光コンベンション協会★
国際版画美術館友の会★

【町田市関係部署】 文化スポーツ振興部 経済観光部 都市づくり部
生涯学習部

スケジュール

短期から中期で、拠点整備の検討・整備と並行して、話し合いを進め、中期から長期で実現していく

10

まちの魅力 情報発信 プロジェクト

来街者数の増加、来街者の満足度の向上、
将来のまちづくりの担い手の発掘に向け、
まちの魅力やまちづくりの情報を、市内外
に発信します。

プロジェクトのイメージ



プロジェクトの実施状況

○既に準備・取り組み始めていること

雑誌・テレビ等での情報発信

○これから取り組み始めること

マップの多言語表記
Wi-Fi環境の整備

プロジェクトの効果・効能

駅前でまちの情報を得ることができ、
便利になる

→ 夢 01 駅が快適・便利だ！

まちの情報や魅力を得ることができ、
来街目的が増える

→ 夢 02 まちに行く目的が
たくさんある！

まちのイベント等の情報を知りやすくなり、
出会いや活動が生まれる機会が増える

→ 夢 04 多くの出会い・活動
が生まれる！

プロジェクトの目指す将来像

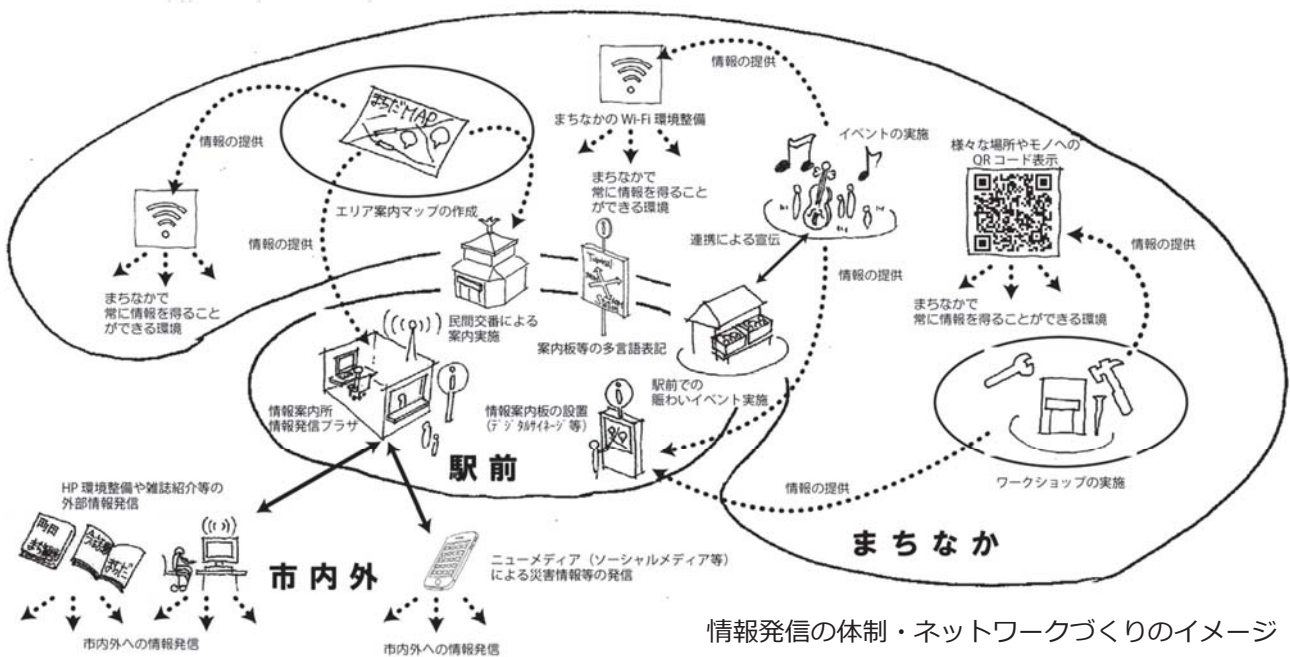
情報発信の体制・ネットワークづくり

まちの魅力を様々な人たちに発信するために、
情報収集・情報発信の体制やネットワークを整
える。

訪れた人々に
快適かつ楽しく過ごしてもらうための
情報発信

訪れた人々に快適に楽しんでもらうために、駅
前におけるまち案内の強化やまちなかでの案内、
まちなかの魅力を分かりやすく伝えるような情
報提供の方法を考える。

- ・駅前における観光情報・地図情報等を伝える観光案内所や情報案内板（デジタルサイン等）の環境整備、案内マップ作成
- ・公園、広場、商店街等の人々が集まる場所の活用や、様々な形態による“まちの魅力を伝えるイベント”の定期的な実施
- ・いつでもどこでもまちの案内やイベント情報を得ることができる環境整備（Wi-Fi環境整備、QRコードの活用等）
- ・インバウンドに備えた外国人にもやさしい案内・サインの多言語表記

様々な人々に
訪れてもらうための情報発信

市内外の様々な人々に訪れてもらうために、訪
れたくなるような情報や町田の魅力やイベント
の情報を発信できるような環境づくりを行う。

- ・まち紹介ホームページの立ち上げ
- ・まち情報紹介の雑誌、テレビ、Webページ、SNS等の積極的活用
- ・まちなかのイベント情報の積極的発信
- ・まちの情報を一括管理する情報プラザの設置
- ・市民やまちで活動する人（まちだ自慢サポーター等）による魅力発信

まちづくりに関わっていく
担い手を発掘するための情報発信

将来的にまちづくりに関わっていく担い手を発
掘するために、取り組みの紹介や取り組みのアイ
デアを検討するワークショップ等の開催を行う。

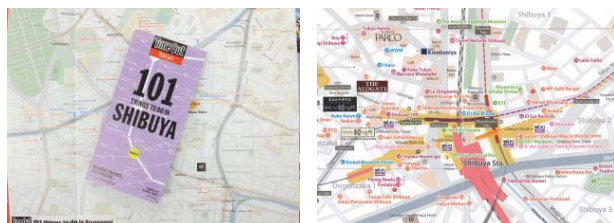
- ・まちづくりの取り組みや実施状況を紹介するホームページの立ち上げ
- ・各プロジェクトにおいて取り組みのアイデアを検討するワークショップ等の開催

＜取り組みのアイデア＞

駅前におけるまちなかの 情報発信の仕掛けづくり

様々な人々が行き交う駅前でまちなかの情報発信を行い、まちなかに人を引き込む仕掛けづくりを行う。

また、まちのコンシェルジュ等によるまち案内や、多言語に対応した情報発信による外国人観光客の来街に備えた仕掛けづくりを行う



多言語対応の案内マップ
/タイムアウト東京「渋谷でしかできない101のことマップ」



案内所 / 左：渋谷駅 右：吉祥寺



施設や飲食店が検索可能なデジタルサイネージ / 渋谷駅

まちの情報や魅力を 市内外に発信する仕掛けづくり

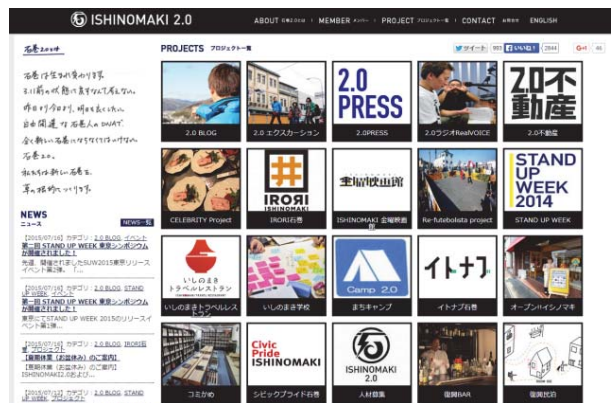
様々な人々に訪れてもらうために、まちの情報を常に発信するホームページの立ち上げやファッション等の特定の視点で魅力を伝えるマップ・パンフレットづくり、また、それらの情報を対外的に発信するための方法の検討を行う。



イベント広場を備えたまち情報センター
/ 柏の葉アーバンデザインセンター
写真提供：柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK]



まちの魅力を様々な視点で伝えるマップ作成や鉄道会社と自治体が協働した情報発信
/ WONDERFUL 神田 NEWS (JR東日本)

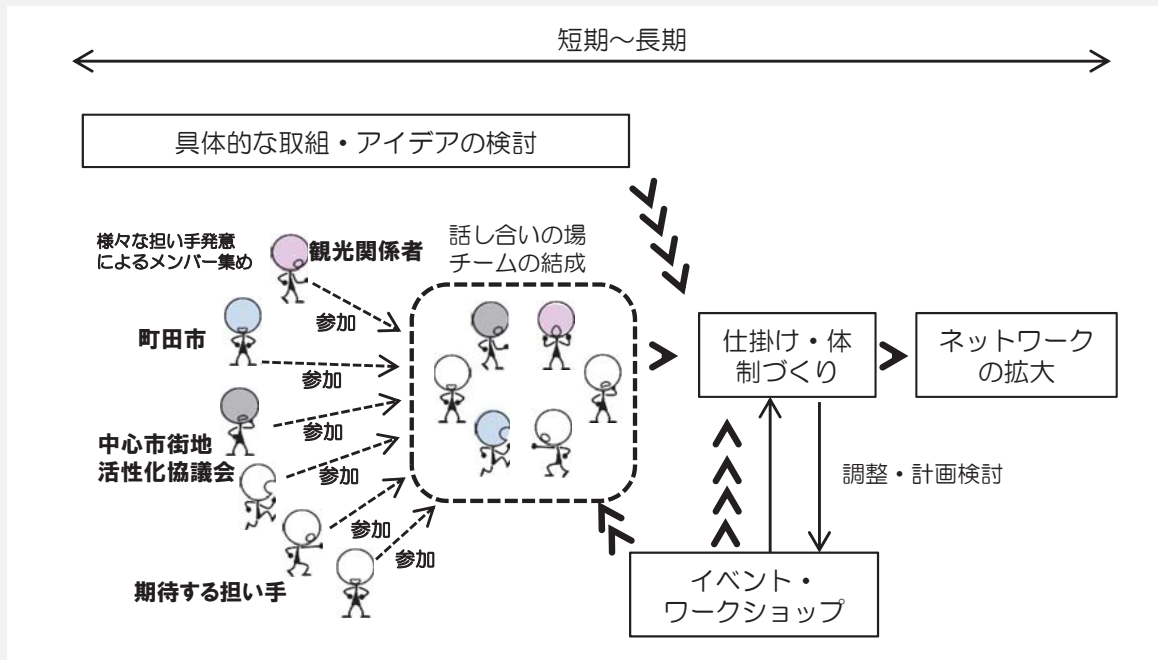


まちづくりの取り組みやプロジェクトのイベント情報を発信する仕組み (HP) / ISHINOMAKI2.0

プロジェクトの進め方

□ プロジェクトの進め方

- 様々な担い手の発意で話し合いの場づくりや情報共有の場づくりを行い、ネットワークの拡大や情報発信コンテンツの充実につなげる



□ プロジェクトの担い手

★：期待する担い手

【取組主体】 中心市街地活性化協議会 観光コンベンション協会 町田市

【関係者】 町田商工会議所★ 商業者★ 住民★ 学生★
民間事業者★ 活動団体★ 等

【町田市関係部署】 経済観光部 都市づくり部 政策経営部

□ スケジュール

短期から長期にかけて順次情報発信の強化に取り組んでいく

3・1 進め方の視点

新しいまちづくりの進め方の必要性

これからのまちづくりは、時代に応じて変化するニーズや予測できない状況の変化に柔軟に対応しながら進めて行く必要があります。

また、将来の少子高齢化や財源縮小等から、行政が中心となり整備を進める従来のまちづくりに対応するには限界があります。

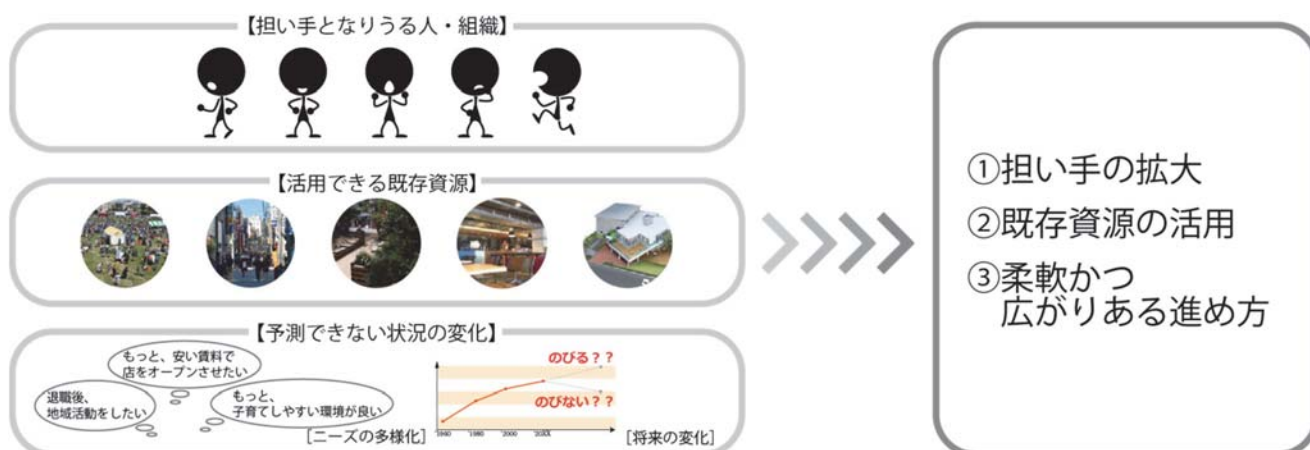
そこで、従来のやり方とは異なる「新しいまちづくりの進め方」が必要になります。

「新しいまちづくりの進め方」の3つの視点

商都として早くから栄えてきた町田市中心市街地には将来のまちづくりの担い手となり得る人・組織が充実しています。

また、これまでのまちづくりによってつくられた活用できる資源が充実しています。

これらを活かしつつ、予測できない状況の変化に柔軟に対応していくことを念頭に、以下の3つの視点をもってまちづくりを進めます。



「新しいまちづくりの進め方」の視点 ①

①担い手の拡大

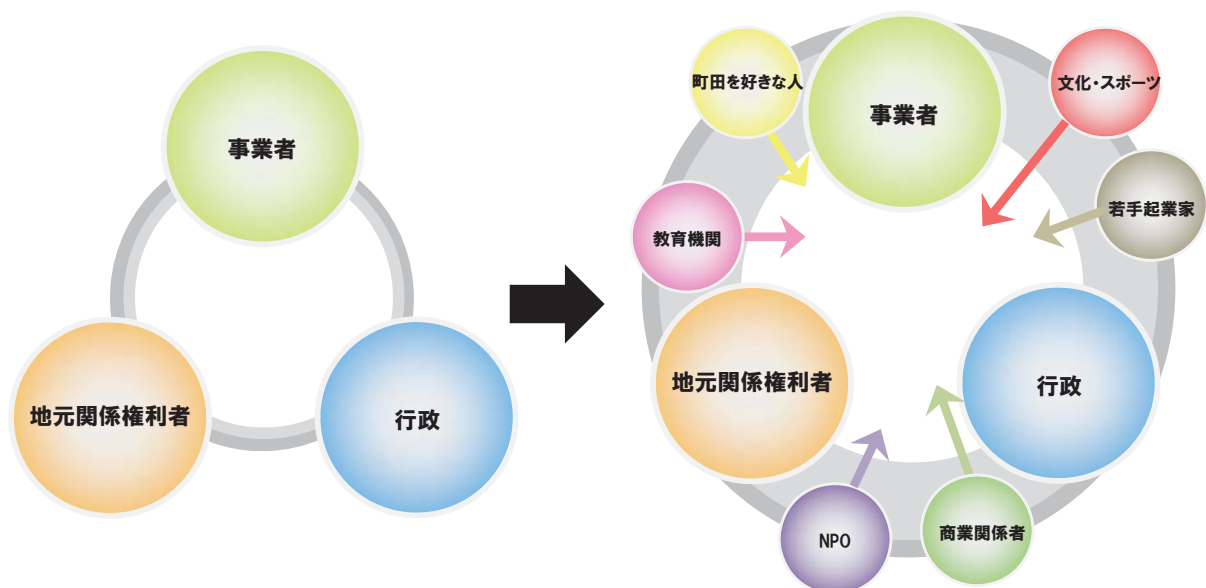
行政+事業関係者（権利者、鉄道等） ➤ 目標を持つ誰もが担い手（多様な担い手）

これからのまちづくりでは、行政や権利者、鉄道事業者などの事業関係者に限らず、様々な視点をまちづくりに活かす必要があります。

一方、早くから商都として栄えてきた町田市中心市街地では商業者や学生、若手企業家、NPO組織などの活動も盛んです。

以上のことから、新たな担い手が参加できるまちづくりを進めます。

行政や事業関係者だけではなく、新たな担い手が参加できるまちづくりを進めます。



「新しいまちづくりの進め方」の視点 ②

②既存資源の活用

新たに作り出す > 新たに作り出す + 今ある資源を磨き活かし、価値を生み出す

町田市中心市街地には大規模な低未利用地が少ないこと、財源の縮小が見込まれることから、「新たにつくりだす」ことだけでまちの魅力向上を図ることは困難です。

一方、町田市中心市街地には、これまでのまちづくりでつくられてきた都市基盤・公共施設や商業・文化施設等、まちの魅力向上につながる“資源”が数多く存在しています。

そこで、必要なものを新たにつくりだすことに加えて、今ある資源を磨き活かし、新たな価値を生み出していきます。



「新しいまちづくりの進め方」の視点 ③

③ 柔軟かつ広がりある進め方

1 将来のまちの姿を共有

将来のまちの姿「楽しみ生まれ続けるまち」を共有します。



2 できる取り組みから順次スタート

共有した将来のまちの姿の実現に向けて、できる取り組みから順次スタートします。

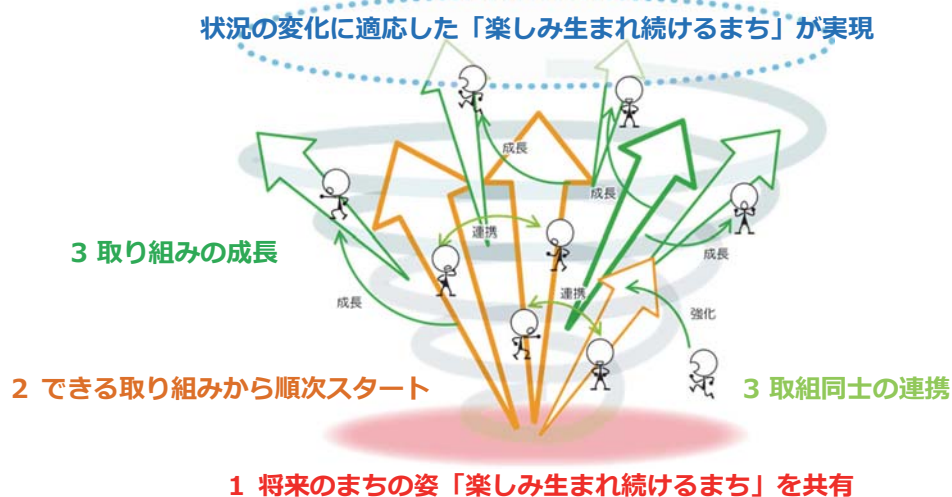


3 各取り組みや担い手の成長

取り組みを進めながら改善する柔軟な対応、状況の変化への適応、取組同士の連携、新しい担い手の参加により、各取り組みや担い手を成長させます。



状況の変化に適応した「楽しみ生まれ続けるまち」が実現



柔軟かつ広がりある進め方のイメージ

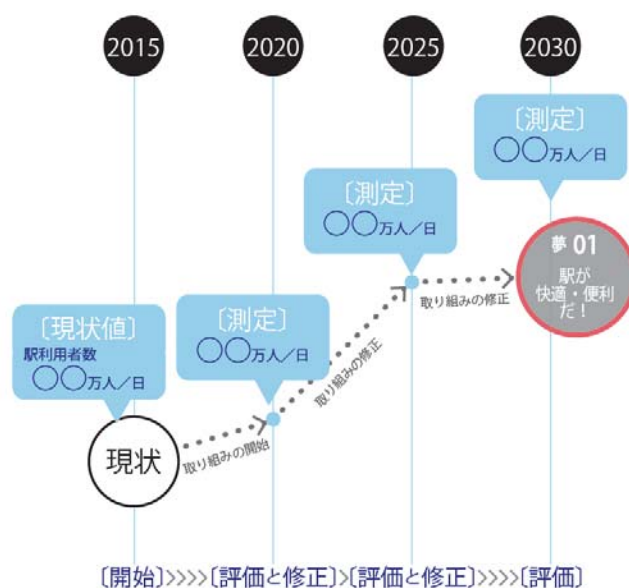
3・2 取り組みの評価（測定指標の設定）

指標設定の目的（まちの変化の把握）

6つの「夢」に向かってまちづくりの取り組みを進める中で、常にまちの変化を把握しておくことが重要です。

そこで、それぞれの「夢」について、取り組みの効果として期待できることを具体的な指標として設定し、5年毎に測定することで、まちの変化を把握します。

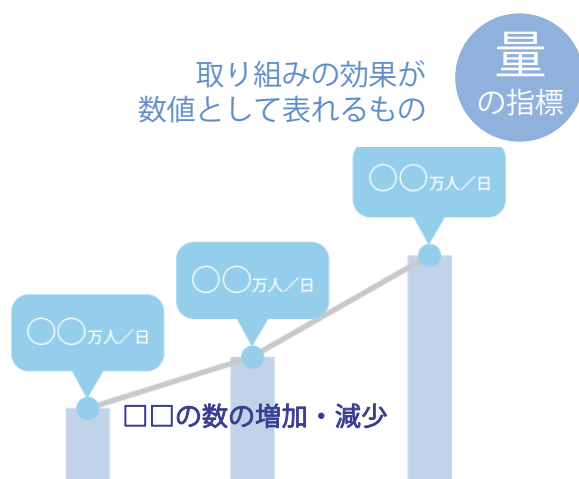
また、これに基づき、取り組みの効果の評価や取り組みの軌道修正を行います。



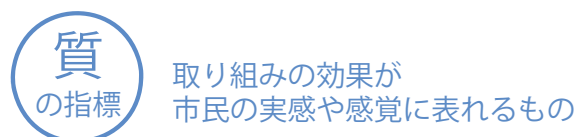
まちの変化把握による取り組みの方向性修正のイメージ

指標設定の考え方（量的指標と質的指標）

取り組みの効果には、数量や値で表れるものと人々の実感や感覚に表れるものがあることから、“量”と“質”でまちの変化を把握できるように指標を設定します。



ex. 取り組みが直接影響するもの（バス本数・イベント数の増加）や、様々な取り組みの成果として増加するもの（人数・時間の増加）⇒統計調査等による集計



ex. 快適と感じるようになったと答えた人の割合 ⇒市民意識調査等による集計

“量的な指標”と“質的な指標”

[参考] 2030年の目標値の考え方

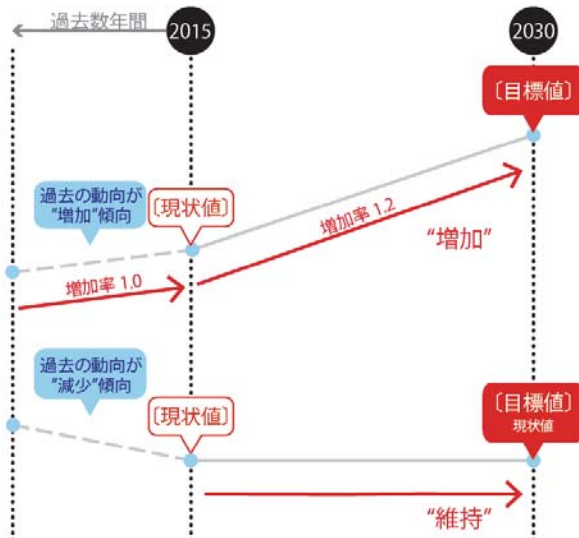
過去の動向等を踏まえて下記の通り標準的な考え方を定め、設定した各指標の2030年における目標値を設定しました。

過去の動向により設定 ← **量** の指標

質 の指標 → 現状値により設定

□過去の動向が把握可能な指標

- ①増加傾向の場合
⇒増加率を2割増
- ②減少傾向の場合
⇒現状維持



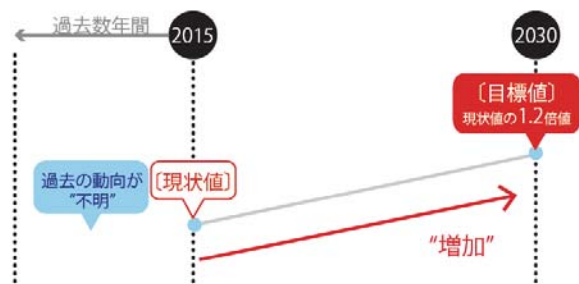
□現状値が40%以上60%未満の場合
⇒60%



□現状値が60%以上の場合
⇒80%



□過去の動向が把握不可能な指標
⇒現状値の1.2倍



□現状値が40%未満の場合
⇒50%



指標と目標値

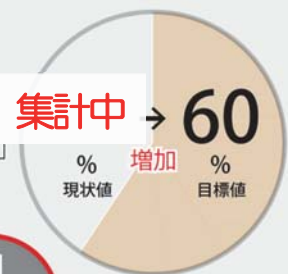
取り組みの効果を測定する指標及び2030年の目標値は、次の通りです。

〔駅利便性満足度〕

駅の利用に関して

「電車・バス・タクシーの
乗り換えが便利だ」

と答えた人の割合 ※1



01

駅が
快適・便利
だ！

〔高速バス数〕



高速バス（町田駅発）1日の本数 ※2

〔鉄道利用者数〕

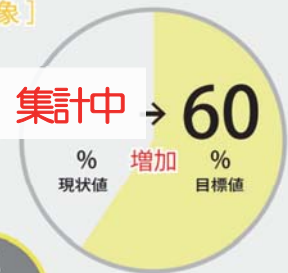


定期外での鉄道利用者数
（平日・休日を含む1日の平均利用者数） ※3

〔まちでの交流が増えた印象〕

「まちでの交流する機会が
増えている」

と答えた人の割合 ※9



04

多くの
出会い・活動
が生まれる！

〔イベント・活動数〕



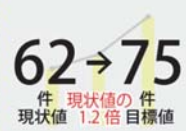
1年間のイベント開催総数 ※10

「文化芸術に触れる機会が増えた」と感じた人の割合 ※11



〔文化芸術の機会〕

〔新規起業件数〕



1年間の起業件数総数
（本店新規設立のみ） ※12

- ※1：駅利用者アンケートによる集計
- ※2：バス時刻表より集計
- ※3：各鉄道会社による定期外1日平均乗車数の集計
- ※4：市民意識調査による集計
- ※5：ドラフティックデータによる集計
- ※6：ドラフティックデータによる集計
- ※7：駅利用者アンケートによる集計
- ※8：駅利用者アンケートによる集計
- ※9：駅利用者アンケートによる集計
- ※10：各指定施設における1年間のイベント数集計
（文化芸術関連イベントを除く）
- ※11：市民意識調査による集計
- ※12：法人市民税データに基づく増加数による集計
- ※13：市民意識調査による集計
- ※14：町田中心地域における住民基本台帳より集計
（旭町、中町、原町田、森野）
- ※15：駅利用者アンケートによる集計
- ※16：商工会議所調査結果より集計

[町田市中心市街地を訪れる頻度]

2週間に1度以上の頻度で
中心市街地を訪れる人の割合 ※4



02
まちに行く
目的が
たくさん
ある！



町田市中心市街地の
休日1日の来街者数
※5

[来街者数]

[滞在時間]

休日における
まちなかでの滞在時間が
3時間を越える人の数 ※6



03
まちの
魅力が上がり
ゆっくり
過ごせる！

[休憩場所の満足度]

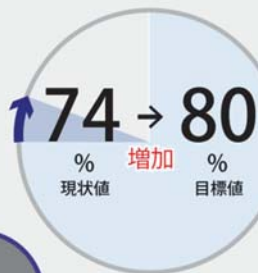


[緑の満足度]



[暮らしやすさ満足度]

町田地区居住の方が
「暮らしやすい/やや暮らしやすい」
と答えた人の割合 ※13



05
ライフスタイル
の選択肢
たくさん
ある！



町田中心地域の居住人口
(将来人口推計※より目標立て)
※14

[居住人口]

[歩行者通行量]

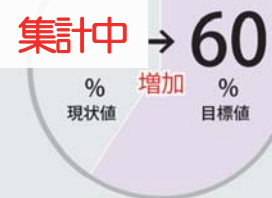
町田中心市街地35地点の
歩行者交通量 ※16



06
通りが快適で
歩いていて
楽しい！

[歩行環境満足度]

まちなかが
「歩きやすい」
と答えた人の割合 ※15



3・3 まちづくりの体制

市民、事業者、町田市中心市街地活性化協議会、町田市が将来像を共有し、協働してまちづくりに取り組んでいきます

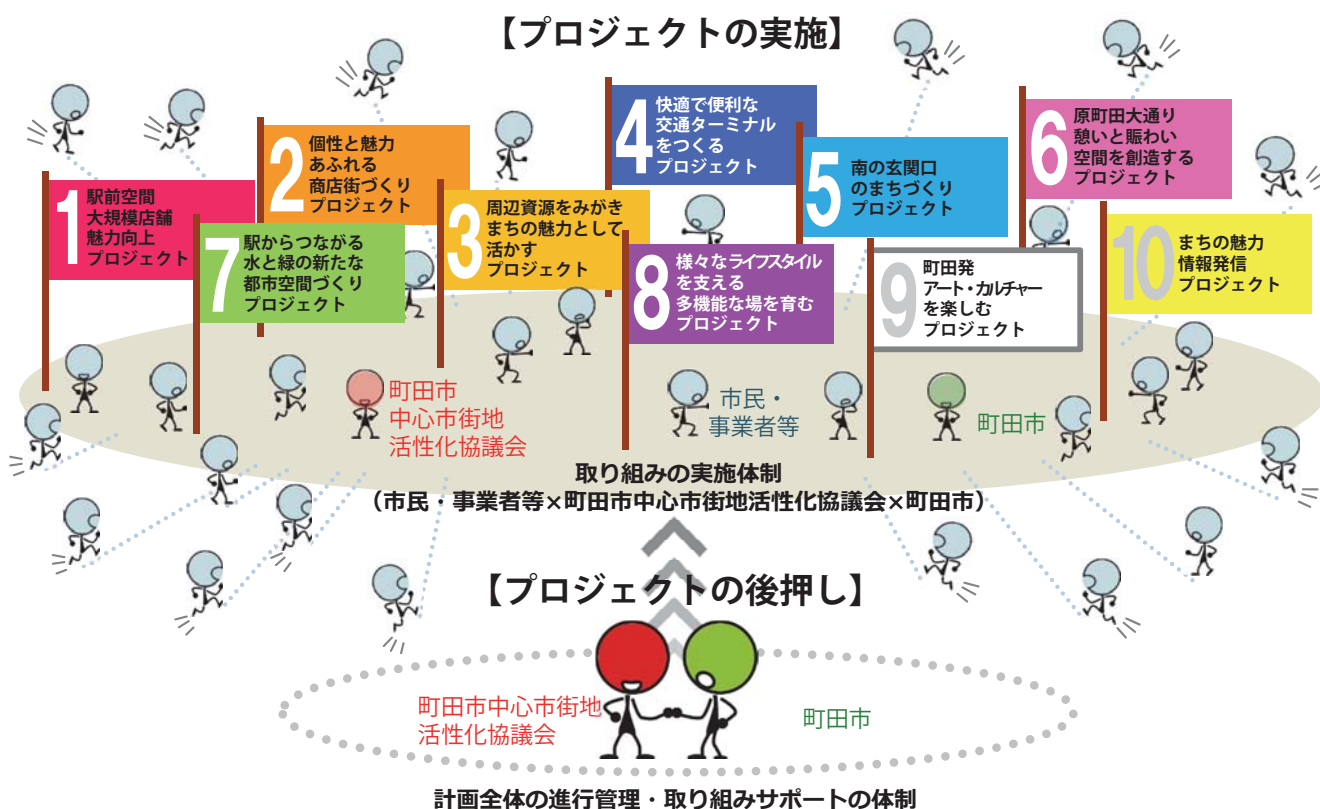
■ 様々な担い手が参画するまちづくり

市民・事業者・町田市中心市街地活性化協議会・町田市等から、取り組みの内容に相応しい担い手が各プロジェクトを推進していきます。

各プロジェクトの特性に応じて、相応しい時期に様々な担い手の参画を促していきます。

■ 町田市中心市街地活性化協議会と町田市が取り組みを後押し

各取組主体が効果的に動けるようするため、町田市中心市街地活性化協議会と町田市が各々の役割に応じて、情報提供や必要なサポートを行います。



整備計画の取組を着実に推進するために ~計画全体の管理・取組みサポートの体制~

① 町田市中心市街地活性化協議会と町田市の連携

まちの将来像の実現に向け、「町田市中心市街地活性化協議会※」と町田市が2015年9月24日に締結した協定に基づき、相互に連携して計画全体の管理や取組みのサポート等を行っています。

※ 町田市中心市街地活性化協議会・・・
「町田市中心市街地の活性化に関する法律」に基づく法定協議会。町田市中心市街地の活性化・まちづくりに密接に関係する地元事業者、地域住民代表者などによって構成される、町田市中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に関し協議する組織。

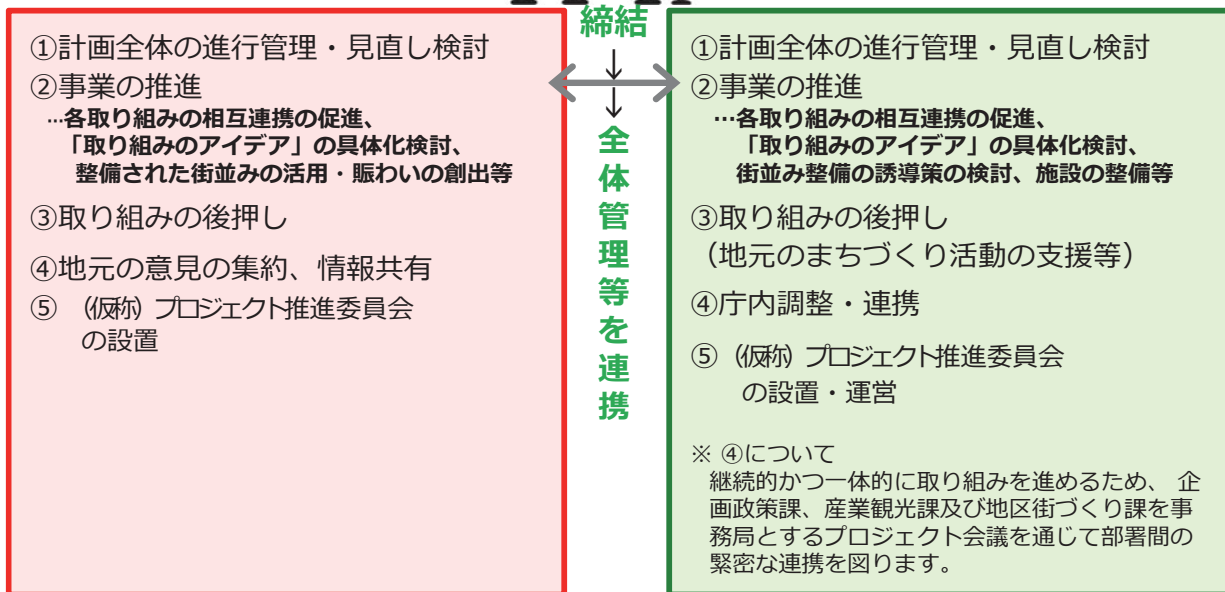
町田市中心市街地活性化協議会

下記①～⑤に取り組みます。



町田市

産業観光課と地区街づくり課が中心となり、下記①～⑤に取り組みます。



② (仮称) プロジェクト推進委員会

まちの将来像の実現に向けた取組みを着実に進めるため、整備計画策定検討委員会の流れを引き継ぐ形で新設する「(仮称)プロジェクト推進委員会」が、毎年を取組の進捗状況や概ね5年ごとの指標の達成状況を確認し、必要に応じて見直し(取組みのアイデアの具体化や取組み内容の見直し等)を行います。

各プロジェクトの推進体制

- ・ 進行管理者が中心となり、各プロジェクトの進め方の検討や体制づくりを進めていきます。
- ・ 表内の担い手に限定せず、各プロジェクト個々の特性に応じて様々な担い手の参画を促していきます。

各プロジェクトの推進体制 - 1/2 : プロジェクト1～4

プロジェクト名称	取り組みの内容	取り組みの担い手 (★:期待する担い手)	
		①取組主体	
1 駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト	駅前大規模店舗の更新・改善	町田市 ■ 大規模店舗事業者 開発事業施行主体★	
	公共施設の更新・改善・活用 	町田市 ■ 公共空間活用マネジメント組織★	
2 個性と魅力あふれる 商店街づくり プロジェクト	商店街の個性や魅力ある雰囲気の維持 ●地区計画等のまちづくりルールによる誘導 ●セットバック空間の活用ルール化	中心市街地活性化協議会 ■ 町田市 ■	
	●無電柱化	町田市 ■	
	快適な歩行空間の実現 ●駐車場隔地施策 ●荷捌き施策	町田市 ■	
	個性的な店舗づくり	中心市街地活性化協議会 ■ し商店街全体をプロデュースできる人★	
	誰にでもやさしい安心・安全な商店街づくり	中心市街地活性化協議会 ■	
	賑わいを生み出す新たな魅力の創出 	中心市街地活性化協議会 ■	
3 周辺資源をみがき まちの魅力として 活かすプロジェクト	周辺資源のさらなる活用  ●シバヒロの活用	観光コンベンション協会	
	●子どもセンターの活用 	町田市 ■ 公共空間活用マネジメント組織★	
	●芹ヶ谷公園の活用 	町田市 ■ 公共空間活用マネジメント組織★	
	周辺資源へのアプローチの充実 	中心市街地活性化協議会 ■ 町田市 ■ 公共空間活用マネジメント組織★	
4 快適で便利な 交通ターミナル をつくるプロジェクト	快適に使える交通ターミナルづくり ●交通ターミナル機能の集約 ●乗降待機スペースの快適化	町田市 ■	
	●案内表示の工夫	町田市 ■	
	様々な場所にアクセスできる	交通事業者 (鉄道・バス・タクシー等)	

【Keyword】

- ①取組主体：計画策定を受けて取組の実現に向けて、主体的に推進力となる人・組織。
- ②関係者：取組の実現の過程で関係する人・組織（取組主体を除く）。参画を期待する人・組織。
中心市街地活性化協議会 ■ と町田市 ■ はすべてのプロジェクトに関係することから、
記載を省略しています。
- ③進行管理者：各プロジェクトの責任者として、プロジェクトの進行管理や担い手の支援を行う
人・組織。

■：中心市街地活性化協議会 ■：町田市

③プロジェクトの進行管理者

②関係者

小田急電鉄 J R 東日本

小田急電鉄 J R 東日本 大規模店舗事業者★
施設・植栽管理維持団体★ 商業者等★

関係権利者 商業者

関係権利者 商業者

町田まちづくり公社 商業者 民間事業者

商業者★ 不動産所有者★ 不動産業者★

—

商業者★ 学校★ 学生★ 住民★
町田商工会議所★ 町田まちづくり公社★ 起業家★

住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★

住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★

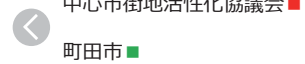
観光コンベンション協会★
住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★

住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★

交通事業者（鉄道・バス・タクシー等） 関係権利者

小田急電鉄 J R 東日本

—



各プロジェクトの推進体制 - 2/2 : プロジェクト5~10

プロジェクト名称	取り組みの内容	取り組みの担い手 (★:期待する担い手)	
		①取組主体	
5 南の玄関口 のまちづくりプロジェクト	町田駅南側に来街者を迎え入れる玄関口をつくる	➤	町田市 ■ 開発事業施行主体★
	町田駅南側からまちなかへのアクセス強化	➤	町田市 ■
	駅前での生活拠点づくり	➤	町田市 ■ 開発事業施行主体★
6 原町田大通り 憩いと賑わい空間 を創造するプロジェクト	原町田大通りを活用した憩いの空間づくり 原町田大通りを活用した賑わいの創出 	➤	中心市街地活性化協議会 ■ 公共空間活用マネジメント組織★
7 駅からつながる 水と緑の新たな 都市空間 づくりプロジェクト	駅近くの新たな都市空間づくり 団地再生に伴う住環境・都市基盤の整備	➤	町田市 ■ 東京都住宅供給公社 開発事業施行主体★
8 様々なライフスタイル を支える 多機能な場を育む プロジェクト	将来の担い手の活躍の機会づくり  ●ビジネス創出や拡大の仕組みづくり	➤	町田市 ■ 町田商工会議所 町田新産業創造センター 起業を支援する民間組織★
	●若い世代の活躍の機会づくり 	➤	町田市 ■ さがまちコンソーシアム
	様々なライフスタイルを生み出す 個性的な不動産活用の仕組みづくり 	➤	不動産活用の仕組みを作る組織★
	生活を支える機能の導入推進	➤	町田市 ■
	商業環境と調和したみどりある良好な住宅の誘導	➤	町田市 ■
9 町田発 アート・カルチャー を楽しむプロジェクト	アート・カルチャーの拠点づくり ●(仮称) 国際工芸美術館の整備	➤	町田市 ■
	●(仮称) 高ヶ坂縄文時代遺跡ガイダンス施設の整備	➤	町田市 ■
	●芹ヶ谷公園の再整備	➤	町田市 ■
	●文化芸術ホールの整備	➤	町田市 ■
	まちなかでのアート・カルチャーコンテンツの充実 アート・カルチャーのネットワークづくり 	➤	アート・カルチャーに関わる 人・団体・施設が集まる組織★
10 まちの魅力 情報発信 プロジェクト	駅前におけるまちなかの情報発信の仕掛けづくり まちの情報や魅力を対外的に発信する仕掛けづくり 	➤	中心市街地活性化協議会 ■ 観光コンベンション協会 町田市 ■

■：中心市街地活性化協議会 ■：町田市

③プロジェクトの進行管理者

②関係者

関係権利者

J R東日本

◀ 町田市 ■

関係権利者

事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★ 学生★ 個人★ 企業★

◀ 中心市街地活性化協議会 ■
町田市 ■

関係権利者 小田急電鉄 J R東日本

◀ 町田市 ■

不動産所有者★ 民間事業者★ 金融機関★ 起業家★ 学校★ 学生★

学校★ 学生★

民間事業者★ 不動産所有者★
不動産業者★ 起業家★ 町田商工会議所★ 金融機関★

◀ 町田市 ■

住民★ 民間事業者★

住民★ 民間事業者★

—

—

—

◀ 町田市 ■

アーティスト★ 住民★ 学生★ 学校★ 活動団体★ 文化施設所有者★
民間事業者★ 観光コンベンション協会★ 国際版画美術館友の会★

町田商工会議所★ 事業者★ 住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 等

◀ 中心市街地活性化協議会 ■

the same time, the process of socialization is not limited to the family, but extends to the school, the workplace, and the community.

As a result of socialization, individuals learn the norms, values, and behaviors that are expected of them in their society. This process is essential for the functioning of any society, as it ensures that individuals are able to interact with others in a predictable and orderly manner. Without socialization, society would be chaotic and unmanageable.

There are many factors that influence the process of socialization. These include the family, the school, the workplace, and the media. Each of these factors plays a role in shaping an individual's beliefs and behaviors. For example, the family is the primary agent of socialization, as it is where an individual first learns about the world and how to interact with others.

The school is another important agent of socialization, as it provides a structured environment where individuals learn social skills and norms. The workplace is also a significant agent of socialization, as it teaches individuals how to work with others and follow organizational rules. Finally, the media plays a role in socialization by providing information and shaping public opinion.

In conclusion, socialization is a complex and ongoing process that shapes an individual's identity and behavior. It is essential for the functioning of any society, as it ensures that individuals are able to interact with others in a predictable and orderly manner. The family, the school, the workplace, and the media all play a role in socialization, and each of these factors influences an individual's beliefs and behaviors in different ways.

As a result of socialization, individuals learn the norms, values, and behaviors that are expected of them in their society.

This process is essential for the functioning of any society, as it ensures that individuals are able to interact with others in a predictable and orderly manner. Without socialization, society would be chaotic and unmanageable.

There are many factors that influence the process of socialization. These include the family, the school, the workplace, and the media. Each of these factors plays a role in shaping an individual's beliefs and behaviors.

The family is the primary agent of socialization, as it is where an individual first learns about the world and how to interact with others. The school is another important agent of socialization, as it provides a structured environment where individuals learn social skills and norms.

The workplace is also a significant agent of socialization, as it teaches individuals how to work with others and follow organizational rules. Finally, the media plays a role in socialization by providing information and shaping public opinion.

In conclusion, socialization is a complex and ongoing process that shapes an individual's identity and behavior. It is essential for the functioning of any society, as it ensures that individuals are able to interact with others in a predictable and orderly manner. The family, the school, the workplace, and the media all play a role in socialization, and each of these factors influences an individual's beliefs and behaviors in different ways.